HP Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン: 9.12 Content Pack 1

Operational Reporting ユーザーガイド

ドキュメントリリース日: 2011年7月 (英語版) ソフトウェアリリース日: 2011年7月 (英語版)



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許 諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテ ムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使 用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 1997-2011 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Business Objects およびBusiness Objects ロゴ、BusinessObjects、Web Intelligence、および本書に記載されているその他の Business Objects 製品およびサービス、ならびにそれぞれのロゴは、Business Objects Software Ltd. の登録商標です。 Business Objects はSAPの子会社です。

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。

Intel®、Intel® Itanium®、Intel® Xeon®、およびPentium® は、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商 標です。

Microsoft®、Windows®、Windows® XP、およびWindows Vista®は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Oracle®とJava™は、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

次のHPソフトウェアサポートのWebサイトを参照してください。

http://support.openview.hp.com/

HP ソフトウェアサポートオンラインでは、対話型の技術支援ツールに効率的にアクセスできます。HP ソフトウェア サポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html (英語サイト)

目次

第1章	概要	9
	PPM Operational Reportingへようこそ!	9
	このドキュメントの対象読者	9
	関連ドキュメント	10
	PPM Center ドキュメントへのアクセス	10
	HP Live Networkに関する Operational Reportingのコンテンツ	11
	HP Live Network へのログオン	11
	電子メール通知の申し込み	12
	HP-提供によるレポート	14
第2章	Operational Reportingの使用方法に関する一般情報	15
	本章の概要	15
	BusinessObjects InfoViewへのログオン	16
	複数言語のOperational Reportingのロケールの設定	17
第3章	HP Project Managementのレポート	19
	本章の概要	19
	プロジェクトステータスリストレポート	19
	レポートデータのグループ化	19
	プロジェクトステータスリストレポートの実行	21
	プロジェクトステータスリストレポートの結果	25
	プロジェクトステータス詳細レポート	27
	[プロジェクトの問題] タブ	32
	[プロジェクトリスク] タブ	34
	プロジェクトステータスリストレポートおよびプロジェクトステータス詳細レポートの	
	コスト情報の解釈	36
	[フロジェクトのスコーフ変更] タフ	36

	HP Project Managementのアドホックレポート	39
	HP Project Managementのアドホックレポートのコンテキスト	39
	HP Project Management データに関するレポートのベストプラクティス	40
	工数とコスト測定値からのプロジェクトマネージャ名の分離	40
	実績工数が記録されていないサマリタスク:地域情報の欠落	40
	実績工数が記録されていないサマリタスク:レポート結果の追加行	41
	所定のプロジェクトに対して同じ名前を持つ複数のタスクの工数のレポート	41
	プロジェクトの見積もり残存工数に関するレポート	42
	運用レポートでのコスト値の解釈	42
	HP Project Managementのアドホックレポートの作成	43
	HP Project Managementデータに関するアドホックレポート: 例	44
	All Effort by Project	51
	Project Effort by Task	52
	Project Effort by Resource	54
	所定のプロジェクトの実績工数とスケジュールされた工数の地域配布	55
	次週に開始および終了するプロジェクトタスク	56
	現在の作業計画とベースライン作業計画の属性の比較	57
	Project Status by Project Manager	59
	Total Scheduled Effort Vs Actual Effort	61
第4章	HP Resource Managementのレポート	65
	本章の概要	65
	Demand Vs Capacity Report (デマンドVs キャパシティレポート)	65
	レポートデータのグループ化	66
	Demand Vs Capacity Reportのデータに影響する地域カレンダー	68
	Demand Vs Capacity Reportの実行	70
	Demand Vs Capacity Reportの結果	73
	HP Resource Managementのアドホックレポート	75
	HP Resource Managementのアドホックレポートのコンテキスト	75
	HP Resource Managementデータに関するレポートのベストプラクティス	77
	複数のビジネス目標を含むプログラムにおけるビジネス目標ごとのプログラムメジャーの	
	グループ化	77
	リソースプールに複数のマネージャが含まれる場合のリソースプールメジャーのクエリ	77
	データ計算に対するカレンダー設定変更の影響	77
	複数のマネージャを含むプロジェクトのクエリ	78
	デマンド、キャパシティ、および工数データのFTE単位での表示	78
	リソースマネージャ階層に最上位レベルマネージャが含まれない場合のリソースに関する	
	レポート	78
	大規模データベースに対するクエリ	79
	リソースの過剰割り当ての計算	79

	ポジションのロールとそのポジションにアサインされたリソースのロールの比較	79
	HP Resource Managementのアドホックレポートの作成	30
	HP Resource Managementデータに関するアドホックレポートの作成:例	31
	リソースプールのすべてのリソース	36
	プロジェクトのベースラインデマンドとアクティブなスタッフィングプロファイルデマンドの	
	比較	38
	デマンド、キャパシティ、および実績工数のレポート (プライマリ組織単位ごとに	
	グループ化)) 0
	合計デマンドとキャパシティの比較(追加のリソースプールデータ付き)	91
	地域ごとのリソースプール) 2
	リソースカテゴリごとのすべてのリソース) 3
	スタッフィングプロファイルごとのリソースおよびロールに関するすべてのアサイン	
	(すべての工数を表示)) 4
	リソースのスタッフィングプロファイルの詳細) 5
第5章	HP Time Managementのレポート	9 7
	Time Sheet Compliance Report (タイムシートコンプライアンスレポート)	€
	タイムシートコンプライアンスレポートクエリの情報	98
	Time Sheet Compliance Reportの結果10)2
	[Direct Manager] タブ10)2
	[Org Unit] タブ10)4
	[Resource Pool] タブ10)5
	HP Time Management のアドホックレポート10	07
	HP Time Managementのアドホックレポートのコンテキスト10	07
	HP Time Management データに関するレポートのベストプラクティス10)8
	複数の作業項目タイプに関するレポート10	38
	メジャーを要約した結果の不正確なデータ表示の回避	38
	コンプライアンスメジャーに関するレポート10)9
	ロールおよび地域10)9
	値およびパーセントの集計10)9
	フィルタを使用したレポート出力の制限10)9
	ポジションのロールとそのポジションにアサインされたリソースのロールの比較10)9
	大規模データベースに対するクエリ1	10
	HP Time Managementのアドホックレポートの作成1	11
	HP Time Managementデータに関するアドホックレポートの例1	11
	未済タイムシート1	11
	HP Time Managementデータに関する追加のアドホックレポート 1	17
	遅延タイムシート送信のトレンド1	17
	タイムシート処理のトレンド1	18
	プロジェクトに記録された請求可能時間のトラッキング1	19

	リソースの進行中作業	120
	HP Time Management レポートのクエリを作成する際に考慮する必要のある問題	121
第6章	HP Financial Managementのレポート	123
	本章の概要	123
	Financial Summary Report (財務サマリレポート)	123
	Financial Summary Reportの実行	
	HP Financial Managementのアドホックレポート	
	HP Financial Managementのアドホックレポートのコンテキスト	128
	HP Financial Managementデータに関するレポートのベストプラクティス	
	プログラムが複数のビジネス目標を含む場合のビジネス目標ごとのプログラムメジャ	ーの
	グループ化	
	大規模データベースに対するクエリ	
	Financial Summary Report での年次粒度の選択	
	プログラムの財務サマリの無効化	
	ボジションのロールとそのボジションにアサインされたリソースのロールの比較	
	HP Financial Managementのアドホックレホートの作成	
	フロクフムことの貸産、提案、およびフロジェクトの例	
	プ昇超逈のノロンエクト、従条、貨座、ねよのノロクフム(日付別) プログラノのライフサイクルエンティティトサブプログラノ	
	クログノムのフィンサイクルエンティティとサフラログラム	
	ごね椒辛匹の不配C40/C」昇雨報(地域加) プログラム 組織単位 お上びライフサイクルエンティティの財務データ(ユーザデー	150 - タ
	フィールドのデータを含む)	139
第7章	レポートポートレット	
	O perational Reportingポートレットの概要	
	運用レポートリストポートレット	
	運用レポートポートレット	
	運用レポートポートレットのセキュリティ	
	PPM Dashboardページへの運用レポートポートレットの追加	144
第8章	アドホック運用レポートへのカスタマイズされた PPM Center データフィールドの追加	
	運用レポートへのユーザデータフィールドの追加	149
	ユーザデータフィールドを表すためのユーザデータオブジェクトの編集	150
	ユーザデータフィールドを含めるためのアドホックレポートの編集	152
	運用レポートの保存および共有	153
	Excelスプレッドシートとしてレポートを保存する際の制限事項	154
	回避策	154
索引		155

第1章 概要

PPM Operational Reporting へようこそ!

HP Project and Portfolio Management Center (PPM Center)のOperational Reporting 機能によって、PPM Centerのデータに関してリッチな対話型レポートを作成 できます。この機能を使用することで、週次レポートの配布、カスタマへの パーソナライズされたサービスの提供、または企業ポータルへのビジネスク リティカル情報の統合が可能になります。

このドキュメントでは、BusinessObjects のWebデスクトップツールである InfoViewを使用して、HP Project Management、HP Resource Management、HP Time Management、HP Financial Managementのデータに関して運用レポートを 生成する方法について説明します。各章では、HPがその実行方法に関する解 決策および手順を提供している事前設定済みの運用レポートと、PPM Center のデータを対象に作成できるいくつかのアドホックレポートについて説明 し、アドホックレポート用のWeb Intelligenceドキュメントおよび構築クエリ を作成する方法の詳細な例を提供します。



PPM Center レポートの新しい開発は、この新規 Operational Reporting プラットフォームに基づいて継続的に拡張される予定です。

このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、PPM Centerユーザ(特に、直属マネージャ、リソースマ ネージャ、プロジェクトマネージャとして作業するユーザ)を対象としていま す。読者は、すべての PPM Center 製品の機能および SAP BusinessObjects につ いて十分な知識を持っていることが前提となります。

関連ドキュメント

この項では、Operational Reportingユーザにとって有益な情報を含むHPおよび SAP BusinessObjectsのドキュメントを一覧します。HPでは、HP Operational ReportingソフトウェアCDにおいて、SAP BusinessObjectsの関連ガイドをPDF 形式で提供しています。一覧されているHPドキュメントの入手方法の詳細に ついては、「PPM Centerドキュメントへのアクセス」を参照してください。

次のHPドキュメントには、Operational Reporting ユーザにとって有益な情報が 含まれます。

- Release Notes
- [Operational Reporting Administrator's Guide]
- 『Data Model Guide』(PPM Center と Operational Reportingの両方のデータモデルの内部構造の詳細について説明)
- 『HP Project Managementユーザーガイド』
- 『HP Financial Management ユーザーガイド』
- 『HP Resource Management ユーザーガイド』
- 『HP Time Management ユーザーガイド』
- 『HPエンティティガイド』(PPM Centerのすべてのポートレット、リクエス トタイプ、およびワークフローの説明を含む)

SAP BusinessObjects Enterpriseの詳細については、SAP ドキュメントを参照してください。

PPM Center ドキュメントへのアクセス

すべての HP PPM Center ドキュメントを入手するには、HP ソフトウェア製品 マニュアルWebサイト (http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals) にアク セスします。このWebサイトにアクセスするには、最初にHP Passport アカウ ントを設定する必要があります。

HP Live Network に関する Operational Reporting のコンテンツ

HP Live Network (HPLN) は、製品エキスパート、パートナ、カスタマが共同 して、知識、ベストプラクティス、HP ソフトウェア製品 (PPM Center および Operational Reporting を含む)のアドオンコンテンツを共有するための、オンラ イン仮想コミュニティです。HPLN上の Operational Reporting のコミュニティ ページにログインすると、Operational Reporting の最新ニュース、更新プログ ラム、ドキュメントにアクセスできます。Operational Reportingのコミュニティ ページから参照するか、電子メールによる通知の受信を申し込むことができ ます。

PPM Center のすべてのカスタマは、HPLN へ無料でアクセスできます。PPM CenterおよびOperational Reportingのコミュニティページにアクセスするには、HPパスポートアカウントを持っている必要があります。



[Announcements] フォーラムには、プロジェクト所有者と管理者のみが投稿できます。プロ ジェクト所有者または管理者でない場合、フィードバックはプロジェクト所有者または一般的 なディスカッションフォーラムにお寄せください。

HP Live Networkへのログオン

HPLN上のOperational Reporting コンテンツにアクセスするには、次の手順を 実行します。

- 1. HP Live Network上のOperational Reportingのコミュニティページ (h22038.www2.hp.com) に移動します。
- 2. [HP Passport sign-in] ページにログオンします。
- 3. Operational Reporting に関する最新のアナウンスを表示するには、 [Operational Reporting Content Announcements] リンクを選択します。
- HPマニュアルサイトから Operational Reporting ドキュメントにアクセスするには、[Help and Support] で、[Download Documentation] をクリックします。

次の各ドキュメントへのリンクがリストされています。

電子メール通知の申し込み

HPLN上のアナウンスとディスカッションの電子メール通知の受信を申し込むには、次の手順を実行します。

1. [Operational Reporting Content delivery] ページの [Latest Announcements and Discussions] 見出しで、[Manage Notifications] をクリックします。



 [Manage notifications] ページで、[Subscribed] チェックボックスを選択し、 [Save Changes] をクリックします。



Operational Reporting のコミュニティページには、サポートチケットの送信、 HP Support Online へのアクセス、およびサポートナレッジベースの検索を行う ことができるページへのリンクが用意されています。HP Project and Portfolio Management Center のコミュニティページへのリンクも用意されています。

HP-提供によるレポート

HPでは、HP Project and Portfolio Management Center (PPM Center) のOperational Reporting 用に次のようなモジュール固有の事前設定済みレポートを提供しています。

• HP Project Management データ用のプロジェクトステータスリストレポート

プロジェクトステータスリストレポートには、次のリンクされたレポート が含まれます。

- プロジェクトステータス詳細レポート
- プロジェクト問題レポート
- プロジェクトリスクレポート
- プロジェクトのスコープ変更レポート
- HP Resource Management データ用のデマンド対キャパシティレポート
- HP Time Management データ用のタイムシートコンプライアンスレポート
- HP Financial Management データ用の財務サマリレポート

BusinessObjects と InfoView に関する知識が限られている場合でも、これらの HP提供によるレポートを使用して、わかりやすい明快なデータを生成するレ ポートクエリを迅速に実行できます。これらの事前設定済みの各レポートは、 BusinessObjectsのWebデスクトップであるInfoViewを使用して表示および操作 できるWeb Intelligence ドキュメントです。

HP提供による各レポートには、設定済みとして使用するか、データを異なる 方法でフィルタするように変更できるプロンプトの関連セットが含まれま す。これらのレポートは、典型的な使用事例向けに設計されています。詳細 については、後の章を参照してください。

第2章 Operational Reportingの使用方法に 関する一般情報

本章の概要

本章では、BusinessObjectsのWebデスクトップツールであるInfoViewにログオ ンする方法、および組織に複数言語のPPM Centerインスタンスがある場合に 運用レポート表示用のロケールを設定する方法について簡潔に説明します。

BusinessObjects InfoViewへのログオン

BusinessObjects InfoViewにログオンするには、次の手順を実行します。

1. レポート管理者が提供する InfoView の URL に移動します。URL は次のとおりです。

http://<BusinessObjects_Server_Name_or_IP>:8080/InfoViewApp/ logon.jsp

e Edit View Favo	ternet Explorer provided by Hewlett-Packard ites Tools Help	
💽 🗸 <mark> %</mark> http://	:8080/InfoViewApp/logon.jsp	ioogle
🕸 🮐 Info View		• 📴 Page 🔹 🕥 Tools 🔹 🕢 🔹 🚉
Busi	ness Objects an SAP company	
InfoVie	wへのログオン	ーヘルプ
д (7	ー ザー 鋳報を入力し、[ログオン] をクリックしてください。 カウント 傍報が不明の場合は、システム 管理者 にお問い合わせください)	
	ユーザー名: パスワード:	
	ログオン	

- 2. [User Name] ボックスに、レポート管理者から提供されたユーザ名を入力 します。
- 3. [Password] ボックスに、レポート管理者から提供されたパスワードを入力 します。
- 4. [Log On] をクリックします。

複数言語のOperational Reportingのロケールの設定

組織で複数言語の Operational Reporting が有効になっていて、InfoView の英語 以外のインスタンスを表示している場合、運用レポートの数値と日付が使用 しているロケールに対して正しく表示されるように、InfoView を設定する必 要があります。

数値と日付が使用しているロケールに対して正しく表示されることを確認す るには、次の手順を実行します。

- 1. Webブラウザのウィンドウを開いて、InfoViewにログオンします。
- 2. [基本設定] をクリックします。
- 3. [基本設定] ページの [全般] セクションで、下にスクロールし、[優先表示 ロケール] リストからロケールを選択します。
- 4. [OK] をクリックします。

InfoView で運用レポートの表示を開始すると、日付と数値が正しく表示されます。

第3章 HP Project Managementのレポート

本章の概要

この章では、HP Project ManagementのOperational Reporting について説明しま す。また、HPが提供する事前設定済みのプロジェクトステータスレポートと、 HP Project Management データを対象に作成できる多くのアドホックレポート の一部に関する情報を提供します。

組織で複数言語のOperational Reportingを有効にしている場合、使用しているロケールに対し て運用レポートデータを正しく表示するようにInfoViewを設定していることを確認してくださ い。手順については、「複数言語のOperational Reportingのロケールの設定」(17ページ)を参照 してください。

プロジェクトステータスリストレポート

HPがOperational Reportingに提供するプロジェクトステータスリストレポート は、PPM Center プロジェクトのすべてを確認して管理する目的で設計されて います。このレポートには、さまざまなプロジェクトヘッダ属性(プロジェク トヘルス、地域、プロジェクトタイプ、達成率など)、およびプロジェクトに 割り当てられた作業計画でキャプチャされるプロジェクトレベルの工数とコ ストのファクト情報を含めることができます。特定のプロジェクトのその他 の情報を表示するには、特定のレポート結果をドリルダウンして、基となる 詳細情報(プロジェクトヘルス、主要なマイルストーン、問題、リスク、ス コープ変更など)を表示できます。

レポートデータのグループ化

レポートに表示されるプロジェクト情報は、地域、プロジェクトクラス、プロジェクトタイプ、ビジネスユニット、またはプログラムに基づいてグループ化できます。

表 3-1. プロジェクトステータスリストレポートでのグループに基づくデータ表示

選択グループ	表示データ
地域	プロジェクトに関連付けられている地域
プロジェクト クラス	プロジェクトが属するクラス。たとえば、コア("既存資産の維持")プロ ジェクトクラスに属するプロジェクトは、既存のビジネスアプリケー ションとサービスを維持する役目を果たします。
プロジェクト タイプ	 プロジェクトの管理に使用するビジネスルールを決定するエンティ ティ。プロジェクトタイプには、プロジェクト管理用の異なる要素に対 する、次のようなポリシーが含まれます。 収集する実績のタイプ プロジェクトに対してビルトインプロジェクトコストまたはHP Time Managementを使用するかどうか プロジェクト内の作業計画の有無
ビジネスユニット	プロジェクトを担当するビジネスユニット
プログラム	プロジェクトに関連付けられているプログラム

プロジェクトステータスリストレポートの実行

プロジェクトステータスリストレポートを実行するには、次の手順を実行します。

1. InfoViewにログオンしてドキュメント一覧を開きます。



ドキュメント一覧に表示されるフォルダおよびオブジェクトは、ユーザがログオンしたア カウント、BusinessObjects Enterprise管理者によってユーザに付与されている権限、およ びユーザとその管理者が有効にしている設定に応じて変化します。

2. ツリーパネルで、[パブリックフォルダ]フォルダを展開し、 [HP PPM Reports]を選択します。

BUSINESSOBJECTS INFOVIEW					
🌍 ホーム ドキュメント一覧 聞く ▼ 送信先 ▼ ダッシュボード ▼					
🔁 😂 🛛 🐳 🖬 耕規作成 👻 追加 👻	整理	Ł ↓ アクション ↓	タイトルの	検索 ▼	
≐⇒すべて		<u> </u>	最终実行日時	<mark>7</mark> 817	
🔤 お気に入り 🖾 受信ボックス		Linked Reports		フォルダ	
🖻 🖿 パブリック フォルダ 🔤 Custom Reports for F		Demand Vs Capacity Report		Web Intelligence	
🗄 🗁 HP PPM Reports	•	ETL Job History		Web Intelligence	
		Financial Summary Report		Web Intelligence	
	-	Project Status List Report		Web Intelligence	
	1	Time Sheet Compliance Report		Web Intelligence	

3. [タイトル] セクションで、[プロジェクトステータスリストレポート] をダブル クリックします。

プロンプト	×
クエリーを実行する前に、プロンプトに返答してください。	
 Primary Grouping: Program Project Name: (オブション) 値が選択されていないため、このフィルタは無視されます。 Overall Health: (オブション) 値が選択されていないため、このフィルタは無視されます。 Project Manager: (オブション) 値が選択されていないため、このフィルタは無視されます。 Region Name: (オブション) 値が選択されていないため、このフィルタは無視されます。 Region Name: (オブション) 値が選択されていないため、このフィルタは素視されます。 	▲
値の最新表示 🍄 Primary Grouping:	
レストのコンテンツを表示するには、[値の最新表示] ボタンをクリックしてください。	
(2)詳細	
ここに表示されている各プロンプトでレポートに返す値を選択、または入力してください。	
クエリーの実行	シセル

[プロンプト]ダイアログに、レポートクエリで使用可能なフィルタが一覧 されます。値が必要なすべてのフィルタにデフォルト値が割り当てられて いますが、これらの値は変更できます。また、一覧されているオプション フィルタの一部または全部に値を指定できます。

プロンプトの左側にある緑のチェックマーク (✓)は、そのプロンプトに1つまたは複数 の値が指定されていることを示します。プロンプトの左側にある赤い矢印 (◆)は、その フィルタが必須であり、レポートクエリを実行する前に値を指定する必要があることを示 します。 クエリをそのまま実行するか、データをさらに絞り込むには、レポートを 実行する前に、次の表に一覧および説明されているプロンプトに情報を提 供します。



プロンプトに値を指定しない場合、レポートデータのフィルタにプロンプトは 使用されません。

プロンプト * 必須	説明			
*Primary Grouping	レポート結果のプロジェクト情報のプライマリグ ループ 次の項目を選択できます。 • 地域 • プロジェクトクラス • プロジェクトタイプ • ビジネスユニット • プログラム			
プロジェクト名	PPM Center プロジェクトの名前			
全体のヘルス	プロジェクトのスケジューリング、コストヘルス、 アーンドバリューヘルス、問題ヘルスに対するヘル スインジケータの加重平均			
地域名	プロジェクトが関連付けられている地域の名前			
リクエストタイプ	プロジェクトに関連付けられているプロジェクト 制御リクエストタイプ。これは、プロジェクトの問 題、リスク、またはスコープ変更の可能性があり ます。			
プロジェクトタイプ	 プロジェクトの管理に使用するビジネスルールを 決定するエンティティ。プロジェクトタイプには、 プロジェクト管理用の異なる要素に対する、次のようなポリシーが含まれます。 収集する実績のタイプ プロジェクトに対してビルトインプロジェクトコストまたはHP Time Managementを使用する かどうか プロジェクトウの作業計画の方無 			
ビジネスユニット	プロジェクトを担当するビジネスユニット			

プロンプト * 必須	説明
プロジェクトクラス	プロジェクトが属するクラスを示します。たとえ ば、コア (既存資産の維持) プロジェクトクラスに 属するプロジェクトは、既存のビジネスアプリケー ションとサービスを維持する役を果たします。
プロジェクトステータス	アサインされたプロセス内のプロジェクトのス テータス
プログラム名	プロジェクトが関連付けられているプログラムの 名前
プロジェクトマネージャ	プロジェクトにアサインされているマネージャの 名前

5. データフィルタを指定したら、クエリを実行します。

Web Intelligence によってデフォルト値のデータが取得され、レポートに結果 が返されます。

プロジェクトステータスリストレポートの結果

図 3-1に、プロジェクトステータスリストレポートの結果を示します。

I	Project Status List Report							(hp		
							Неа	lth		
	Program	Project No.	Project Name	Project Manager	Status	Overall	Schedule	Issue	Cost	Actual Start Date
		<u>30140</u>	APO - Pilot	Joseph Banks	Construct					10/02/2008
	Black Diamond Initiative	<u>30120</u>	CRM One World	Admin User, Joseph Banks	Detailed Project Definition					
		<u>31260</u>	Marketing WebPortal V2	Joseph Banks	Construct					12/01/2008
		<u>30100</u>	Web for One World	Joseph Banks	Detailed Project Definition					01/01/2008
		<u>30140</u>	APO - Pilot	Joseph Banks	Construct					10/02/2008
		<u>30160</u>	Billing Systems Integration	Joseph Banks	Detailed Project Definition					01/02/2009
	One World	<u>30120</u>	CRM One World	Admin User, Joseph Banks	Detailed Project Definition					
		<u>30100</u>	Web for One World	Joseph Banks	Detailed Project Definition					01/01/2008
		<u>30220</u>	Distribution Access	Nicole Smith	Assign Project Manager					

図 3-1. プロジェクトステータスリストレポートの結果

表 3-2に、プロジェクトステータスリストレポートに表示される列の説明 を示します。

表 3-2. プロジェクトステータスリストレポートに表示される列

列	説明
<グループ>	レポートデータのプライマリグループ。すべてのレポートデータ は、地域、プロジェクトクラス、プロジェクトタイプ、ビジネス ユニット、またはプログラムでグループ化できます。
プロジェクト番号	プロジェクトを一意に特定する PPM Center によってアサインさ れた番号
プロジェクト名	プロジェクト名
プロジェクト マネージャ	プロジェクトを管理するためにアサインされたリソース
ステータス	アサインされたプロセス内のプロジェクトのステータス

表 3-2. プロジェクトステータスリストレポートに表示される列

列	説明
ヘルス • 全体 • スケジュール • 問題 • コスト	プロジェクトの要素 (スケジュールやコストなど) が重大な状態 (赤)、リスク状態 (黄)、または計画どおりの状態 (緑) かどうかを 示すカラーコード。
実際の開始日	プロジェクト作業が実際に開始した暦日
実際の終了日	プロジェクト作業が実際に終了した暦日
計画開始期間	プロジェクト作業を開始するようにスケジュールされたカレン ダー期間
計画終了期間	プロジェクト作業を終了するようにスケジュールされたカレン ダー期間
説明	プロジェクトの説明
リクエストタイプ	プロジェクトの開始に使用するリクエストのタイプ
ビジネスユニット	プロジェクトを担当するビジネスユニット
ビジネス目標名	プロジェクトに関連付けられているビジネス目標
プロジェクトクラス	プロジェクトが属するクラス。たとえば、コア(既存資産の維持) プロジェクトクラスに属するプロジェクトは、既存のビジネスア プリケーションとサービスを維持する役を果たします。
プロジェクトタイプ	プロジェクトタイプ
地域	プロジェクトに関連付けられている地域
SPI	スケジュール業績指数。計画価値 (PV) に対するアーンドバリュー (EV) の比率であり、スケジュール効率を示します。SPI は、作業 計画または計画されたスケジュールの達成度を、コストに換算し たものです。
СРІ	コストパフォーマンス指数。実績コストに対するアーンドバ リュー (EV)の比率であり、コスト効率を示します。また、CPIは、 プロジェクトの計画実績コストを計算し、コスト超過額を予測す る際にも使用されます。

表	3-2.	プロジェク	トステー	タスリス	トレポー	トに表示される列
---	------	-------	------	------	------	----------

列	説明
資本金 人件費 非人件費 合計 	プロジェクトの資本コスト
運用 • 人件費 • 非人件費 • 合計	プロジェクトの運用コスト
達成率 (%)	プロジェクト作業の今日までの達成率

プロジェクトステータス詳細レポート

プロジェクトステータスリストレポートにリストされているプロジェクトに 関する情報の基となる詳細データを表示するには、次の手順を実行します。

 プロジェクトステータスリストレポートの [プロジェクト番号] 列で、詳細 データを表示するプロジェクトのリンクをクリックします。

Project Status List Report								
								He
Program		Project No.		Project Name	Project Manager	Status	Overall	Schedule
		<u>30140</u>		APO - Pilot	Joseph Banks	Construct		
Black Diamond		<u>30120</u>		CRM One World	Admin User, Joseph Banks	Detailed Project Definition		
Initiative		<u>31260</u>		Marketing WebPortal V2	Joseph Banks	Construct		
		<u>30100</u>		Web for One World	Joseph Banks	Detailed Project Definition		

プロジェクトステータスリストレポートが新しいブラウザウィンドウで 表示されます。

/eb Intelligence - Project Status Detail Report - Microsoft Internet Explorer provided by Hewlett-Packard						
Document - View - 📃 📇	🏦 🧐 🥲 100%	- H ≤ 1 /1 ► H				Edit 🛛 🔁 Refresh A
Project Status Deta	ails					
Project Details:						
Project No: 3	0140		Region:	US		
Project Name: A	PO - Pilot		Business Unit:	Government BU		
Project Type: S	tandard Project (PFM) - Me	dium Size	Business Objective:	10% Increase in	Revenue	
Planned Period: 0	october 2008 - January 200	9	Status:	Construct		
Actual Dates: 1	0/02/2008 -					
Creation Date: 0	3-12-2007		Description:	APO - Pilot		
Created By: J	oseph Banks					
Project Class: In	novation		% Complete:	94		
Asset Class: In	Asset Class: Informational LV1			0.94		
Project Manager(s): Jo	seph Banks		CPI:	1.05		
Associated Program(s):	lack Diamond One V	Vorld				
Health Indicators:	1		0-1-1-1-11-11-11			
Overall Health			Cost Health			
Overall fielditi	-					
Priority		Issues	Risks		Sc	ope Changes
Critical		1				
High		1		1		1
Low	Low 1		4 1		1	
Normal	Normal 2		1			1
Cost Information:						
	Capital			Оре	rating	
Labor	Non Labor	Total	Labor	Non	Labor	Total
42,560	0	42,560	16,960		0	16,960
Project Status Detail	Project Issues	Project Risks	Project Scope Change	s		

表 3-3に、プロジェクトステータスリストレポートに表示されるフィールドを示します。

表 3-3. プロジェクトステータスリストレポートに表示されるフィールド

フィールド	説明
プロジェクトの詳細	
プロジェクト番号	プロジェクトを一意に特定する PPM Center によってアサインさ れた番号
プロジェクト名	プロジェクト名
プロジェクトタイプ	プロジェクトタイプ

表 3-3. プロジェクトステータスリストレポートに表示されるフィールド

フィールド	説明
計画期間	プロジェクト作業をアクティブにするようにスケジュールされた 会計カレンダー期間
実際の日付	プロジェクト作業が実際に開始した暦日 (mm/dd/yyyy) で、プロ ジェクトが完了した場合は、プロジェクトの完了日付
作成日	プロジェクトが作成された暦日 (mm/dd/yyyy)
作成者	プロジェクトを作成したリソースの名前
プロジェクトクラス	プロジェクトが属するクラス。たとえば、コア (既存資産の維持) プロジェクトクラスに属するプロジェクトは、既存のビジネスア プリケーションとサービスを維持する役を果たします。
資産クラス	プロジェクトが属する資産クラス
プロジェクト マネージャ	プロジェクトを管理するためにアサインされたリソース
関連付けられた プログラム	プロジェクトが関連付けられているプログラム
地域	プロジェクトに関連付けられている地域
ビジネスユニット	プロジェクトが属するビジネスユニット
ビジネス目標	プロジェクトに関連付けられているビジネス目標
ステータス	アサインされたプロセス内のプロジェクトのステータス
説明	プロジェクトの説明
達成率 (%)	プロジェクト作業の今日までの達成率
SPI	スケジュール業績指数。計画価値 (PV) に対するアーンドバリュー (EV) の比率であり、スケジュール効率を示します。SPIは、作業 計画または計画されたスケジュールの達成度を、コストに換算し たものです。
СРІ	コストパフォーマンス指数。実績コストに対するアーンドバ リュー (EV)の比率であり、コスト効率を示します。また、CPIは、 プロジェクトの計画実績コストを計算し、コスト超過額を予測す る際にも使用されます。

表 3-3. プロジェクトステータスリストレポートに表示されるフィールド

フィールド	説明
ヘルスインジケータ	
ヘルス • 全体のヘルス • スケジュールヘルス • 問題ヘルス • コストのヘルス	プロジェクトの要素 (スケジュールやコストなど) が重大な状態 (赤)、リスク状態 (黄)、または計画どおりの状態 (緑) かどうかを 示すカラーコード
優先度	プロジェクトに割り当てられる優先度(存在する場合)
問題	プロジェクトに対して送信した問題リクエストの数。何らかの問題がプロジェクトに関連付けられている場合、これらのリクエストの詳細が [プロジェクトの問題] タブに表示されます。[プロジェクトの問題] タブについては、「[プロジェクトの問題] タブ」 (32ページ)を参照してください。
リスク	プロジェクトに対して送信したリスクリクエストの数。何らかの リスクが選択したプロジェクトに関連付けられている場合、これ らの詳細が [プロジェクトリスク] タブに表示されます。[プロ ジェクトリスク] タブについては、「[プロジェクトリスク] タブ」 (34ページ) を参照してください。
スコープ変更	プロジェクトに対して送信したスコープ変更リクエストの数。 何らかのスコープ変更がプロジェクトに関連付けられている場 合、これらの詳細が [プロジェクトのスコープ変更] タブに表 示されます。[プロジェクトのスコープ変更] タブについては、 「[プロジェクトのスコープ変更] タブ」(36ページ) を参照してく ださい。
コスト情報	

資本金 人件費 非人件費 合計 	プロジェクトの資本コスト
運用 • 人件費 • 非人件費 • 合計	プロジェクトの運用コスト

表 3-3. プロジェクトステータスリストレポートに表示されるフィールド

フィールド	説明
作業計画のマイルスト	ーン
マイルストーン	プロジェクトに割り当てられた作業計画内の標準マイルストーン の名前
主要マイルストーン	プロジェクトに割り当てられた作業計画内の主要マイルストーン として特定されたマイルストーンの名前
達成率 (%)	プロジェクト作業のマイルストーンに到達するまでの達成率
予測される日付	プロジェクトがマイルストーンを完了すると予定されている日付

何らかの問題、リスク、またはスコープ変更が選択したプロジェクトに関連付けられている場合、これらリクエストの詳細が [プロジェクトの問題]、[プロジェクトリスク]、[プロジェ クトのスコープ変更] タブに表示されます。これらのタブについては、以下を参照してくだ さい。

[プロジェクトの問題] タブ

プロジェクトの問題リクエストがプロジェクトステータスリストレポートで 選択したプロジェクトに対して送信された場合、問題の数がプロジェクト詳 細レポートの下部にある[問題]列にリストされます。

すべてのプロジェクトの問題を表示するには、[**プロジェクトの問題**] タブをク リックします。

Project No: 30140 Project Name: APO - Pilot Request No. Description Status Priority 30312 Siebel QA server needs disk space Open Critical 30317 Patch release expected two weeks before GA Pending Closure High 30320 Need to clear non-budgeted travel expenses Open Low 30310 Several additional languages in user community found during Asia-Pac expansion Open Normal	oject Issues				Ø
Request No. Description Status Priority 30312 Siebel QA server needs disk space Open Critical 30317 Patch release expected two weeks before GA Pending Closure High 30320 Need to clear non-budgeted travel expenses Open Low 30310 Several additional languages in user community found during Asia-Pac expansion Open Normal	Project No:	30140	Project Name:	APO - Pilot	
30312 Siebel QA server needs disk space Open Critical 30317 Patch release expected two weeks before GA Pending Closure High 30320 Need to clear non-budgeted travel expenses Open Low 30310 Several additional languages in user community found during Asia-Pac expansion Open Normal	Request No.	Descrip	tion	Status	Priority
30317 Patch release expected two weeks before GA Pending Closure High 30320 Need to clear non-budgeted travel expenses Open Low 30310 Several additional languages in user community found during Asia-Pac expansion Open Normal Additional exports comparison betwork comparison betwor	<u>30312</u>	Siebel QA server ne	eds disk space	Open	Critical
30320 Need to clear non-budgeted travel expenses Open Low 30310 Several additional languages in user community found during Asia-Pac expansion Open Normal 4dditional network competitions preventions etadditional performance Open Normal	<u>30317</u>	Patch release expected	two weeks before GA	Pending Closure	High
30310 Several additional languages in user community found during Asia-Pac expansion Open Normal	<u>30320</u>	Need to clear non-budg	eted travel expenses	Open	Low
Additional network connections needed in data	<u>30310</u>	Several additional languages in user community found during Asia-Pac expansion		Open	Normal
30318 center Open Normal	<u>30318</u>	Additional network connections needed in data center		Open	Normal
	Project Status Deta	i 📄 Project Issues	Project Risks	Project Scope Changes	

[プロジェクトの問題] タブにリストされている問題の詳細情報を表示するに は、[リクエスト番号] 列の該当するリンクをクリックします。[問題の詳細] ウィンドウが新しいブラウザウィンドウで開きます。

🖉 We	🖉 Web Intelligence Microsoft Internet Explorer provided by Hewlett-Packard							
- 🖗 C	😠 Document + View + 🏭 🏩 (🏦 🥑 (+ 100%) + K < 1 // > N Edt 🕲 Refresh Data խ Track 🕅 🖓 👘 👘							
ls	sue Details			(p)				
	Request No.	30318	Request Type Name	Project Issue				
	Escalation Level	Project	Description	Additional network connections needed in data center				
ľ	Priority	Normal	Workflow Name	Issue Management Process				
	Status	Open	Active Workflow Step Name	Manage Issue				
	Created By	Admin User	Assigned To	Finn Gill				
	Application		Contact Name					
	Department							
•				× •				
H A >	Issue Details							
	Refresh Date: July 18, 2011 4:51:10 PM GMT-07:00							

表 3-4に、選択した問題の[問題の詳細]タブに表示されるフィールドをリスト します。

フィールド	説明
リクエスト番号	PPM Center内のプロジェクトの問題リクエスト番号
エスカレーションレベル	問題のエスカレーションレベル。取り得る値は [プロジェ クト] または [プログラム] です。
優先度	プロジェクトの問題リクエストにアサインされている優先 度の値
ステータス	プロジェクトの問題リクエストのステータス
作成者	リクエストを送信したリソースの名前
アプリケーション	リクエストに関連付けられているアプリケーション
部署	プロジェクトの問題リクエストに関連付けられている部署
リクエストタイプ名	リクエストタイプの名前
説明	プロジェクトの問題の説明
ワークフロー名	プロジェクトの問題リクエストにアサインされているワー クフローの名前
アクティブワークフロー ステップ名	リクエストが到達した現在のワークフローステップ
アサイン先	リクエストにアサインされているリソースの名前
連絡先名	リクエストにアサインされている連絡先の名前 (存在する 場合)

表 3-4. [問題の詳細] タブに表示されるフィールド

[プロジェクトリスク]タブ

プロジェクトリスクリクエストがプロジェクトステータスリストレポートで 選択したプロジェクトに対して送信された場合、リスクの数がリクエスト詳 細レポートの下部にある[**リスク**]列にリストされます。

すべてのプロジェクトリスクを表示するには、[**プロジェクトリスク**] タブをク リックします。

Sweb Inte	elligence - Project ent + View +]	t Status Detail Report - Microsoft Internet Explorer prov	rided by Hewlett-Packard Edit 😂 Refresh All 🗸 🞲	- 🗆 2
Proje	ect Risks			()
	Project No:	30140 Project Name:	APO - Pilot	
	Request No.	Description	Status	Priority
	<u>30141</u>	Hardware Procurements is delayed by Vendor	New	Low
	<u>30142</u>	Key business stakeholder has left organization.	New	Low
	<u>30146</u>	Patch release incompatibility with desktop publishing SW	New	Low
	<u>30161</u>	Hiring freeze - need additional resources to finish on schedule	New	Low
	<u>30144</u>	Glitches in building move during testing	New	Normal
	Project Status	Detail E Project Issues E Project Risks	Project Scope Change	s
			Refresh Date: Ju	ly 18, 2011 4:35:49 PM GMT-07:0

[**プロジェクトリスク**] タブにリストされている問題の詳細情報を表示するには、[**リクエスト番号**] 列の該当するリンクをクリックします。[リスクの詳細] ウィンドウが新しいブラウザウィンドウで開きます。

Ø Web Intelligence Microsoft Ir	nternet Explorer provided by I	Hewlett-Packard	Edit 🍣 Refresh Data 🎲 Track 🖏 🖓 🕰 🍕
Risk Details			<u>م</u>
Request No.	30144	Request Type Name	Project Risk
Probability	Likely [41-80%]	Description	Glitches in building move during testing
Risk Impact Level	Low	Workflow Name	Risk Management Process
Priority	Normal	Active Workflow Step Name	Re-evaluate Risk Impact Level
Status	New	Assigned To	Allen Hughes
Created By	Admin User	Contact Name	
Application			
Department			
I ■ Risk Details			¥
			Refresh Date: July 18, 2011 5:04:46 PM GMT-07:00

表 3-5に、選択したリスクの [**リスクの詳細**] タブに表示されるフィールドをリストします。

表 3-5.[リスク	の詳細] タブに表	示されるフィールド

フィールド	説明
リクエスト番号	PPM Center内のプロジェクトリスクリクエスト番号
可能性	リスク発生の予想される可能性
リスクインパクトレベル	リスクにアサインされているインパクトレベル
優先度	プロジェクトリスクリクエストにアサインされている優先 度の値
ステータス	現在のプロジェクトリスクリクエストのステータス
作成者	リクエストを送信したリソースの名前
アプリケーション	リクエストに関連付けられているアプリケーション
部署	リクエストに関連付けられている部署
リクエストタイプ名	リクエストタイプの名前
説明	プロジェクトリスクの説明
ワークフロー名	リクエストにアサインされているワークフローの名前

フィールド	説明
アクティブワークフロー ステップ名	リクエストが到達した現在のワークフローステップ
アサイン先	リクエストにアサインされているリソースの名前
連絡先名	リクエストにアサインされている連絡先の名前 (存在する 場合)

表 3-5. [リスクの詳細] タブに表示されるフィールド

プロジェクトステータスリストレポートおよびプロジェクトステータス詳細レポートの コスト情報の解釈

PPM Centerでは、資産計上可能なコストのトラッキングは、

COST_CAPITALIZATION_ENABLEDサーバ設定パラメータを介してオンになっ ています。コスト情報を表示する PPM Dashboard の各ページは、この設定に 従って動作します。ただし、Operational Reportingは、COST_CAPITALIZATION_ ENABLEDパラメータを確認しません。PPM Center インスタンスが資本コスト をトラックするように設定されていない場合、レポートには空の[資本コスト] フィールドが表示され、実績コストが運用コストとして表示されます。

[プロジェクトのスコープ変更]タブ

プロジェクトのスコープ変更リクエストがプロジェクトステータスリストレ ポートで選択したプロジェクトに対して送信された場合、スコープ変更の数 がプロジェクトステータス詳細レポートの下部にある[スコープ変更]列にリ ストされます。

[スコープ変更] 列にリストされているスコープ変更リクエストの詳細を表示す るには、該当するリクエスト番号をクリックします。[スコープ変更] タブに、 スコープ変更リクエストのリクエスト詳細レポートが表示されます。

Projec	t Scope Ch	anges	(p)	
	Project No:	30140 Project Name:	APO - Pilot	
	Request No.	Description	Status	Priority
	<u>30440</u>	Oracle 11i upgrade impacts	In Review	High
	30438	Please add this report	New	Low
	30439	PeopleSoft upgrade requires additional interfaces	New	Normal
[スコープ変更] タブにリストされているスコープ変更の詳細情報を表示するに は、[リクエスト番号] 列の該当するリンクをクリックします。[スコープ変更 の詳細] ウィンドウが新しいブラウザウィンドウで開きます。

Scope Ch	cope Change Details			
	Request No.	30440	Request Type Name	Project Scope Change Request
	Impact Severity	Medium	Description	Oracle 11i upgrade impacts
	CR Level	Level 2	Workflow Name	Scope Change Request Process
	Priority	High	Active Workflow Step Name	Review Level 2 Change Request
	Status	In Review	Assigned To	
	Created By	Admin User	Contact Name	
	Application			
	Department			

表 3-6に、選択したスコープ変更リクエストの [**スコープ変更の詳細**] タブに表示されるフィールドをリストします。

フィールド	説明
リクエスト番号	PPM Center内のスコープ変更リクエスト番号
インパクトの重要度	プロジェクトのスコープ変更リクエストにアサインされて いるインパクトの重要度
CRレベル	プロジェクトのスコープ変更リクエストにアサインされて いる変更リクエストレベル
優先度	プロジェクトのスコープ変更リクエストにアサインされて いる優先度の値
ステータス	現在のプロジェクトのスコープ変更リクエストのステー タス
作成者	リクエストを送信したリソースの名前
アプリケーション	リクエストに関連付けられているアプリケーション
部署	リクエストに関連付けられている部署
リクエストタイプ名	リクエストタイプの名前
説明	スコープ変更リスクの説明
ワークフロー名	リクエストにアサインされているワークフローの名前

表 3-6. [スコープ変更の詳細] タブに表示されるフィールド

表 3-6. [スコープ変更の詳細] タブに表示されるフィールド

フィールド	説明
アクティブワークフロー ステップ名	リクエストが到達した現在のワークフローステップ
アサイン先	リクエストにアサインされているリソースの名前
連絡先名	リクエストにアサインされている連絡先の名前 (存在する 場合)

HP Project Managementのアドホックレポート

この項では、HP Project Management を対象に作成できるアドホック運用レポートについて説明し、それらのレポートのいくつかを作成する方法の例を示します。また、この項には、レポートで使用できるコンテキストに関する情報、アドホックレポートの作成における推奨事項、および運用レポートクエリでのPPM Centerユニバースオブジェクトの使用方法に関するガイドも含まれます。

HP Project Managementのアドホックレポートのコンテキスト

HP Project Managementのアドホックレポートを作成する場合、InfoViewによっ てレポートクエリのコンテキストを選択するよう求められることがありま す。コンテキストは、複数のディメンションおよびファクトに関連する一意 のクエリパスを作成するための、明確に定義された結合のセットで構成され ます。

ディメンションの共通セットにレポートユニバースの複数のファクトおよび メジャーが関連している場合、複数のファクトと関連ディメンション間の結 合は、ループに陥ります。ファクトおよび関連ディメンションごとに個別の コンテキストを指定することで、ループを排除し、共通ディメンションのセッ ト全体で複数のファクトをクエリできます。

Operational Reporting では、**HP Project Management** データを対象に作成される アドホックレポートに次のコンテキストが提供されます。

コンテキスト	使用例
リソースによるタスクの実績 工数	タスクに対してリソースが送信した実績工数をレポートに 表示する場合、このコンテキストを使用します。このコン テキストでは、地域はリソースの地域を示します。
タスクレベルのコスト	所定の作業計画に対するプロジェクトタスクのコストをレ ポートに表示する場合、またはプロジェクトのタスクまた は属性のすべてに関するレポートを作成する場合、このコ ンテキストを使用します。このコンテキストを使用して、 現在のコストとベースラインコストを比較することもでき ます。
サマリタスクで集計された 工数	サマリタスクで集計された工数情報をレポートに表示する 場合、このコンテキストを使用します。

表 3-7. [スコープ変更の詳細] タブに表示されるフィールド

表 3-7. [スコープ変更の詳細] タブに表示されるフィールド

コンテキスト	使用例
プロジェクトマネージャ	レポート内のプロジェクトマネージャでプロジェクトを検 索するか、作業計画内のプロジェクトとタスク属性に関する レポートを作成する場合、このコンテキストを使用します。
アサイン済みのリソースによ るタスクのスケジュールされ た工数	タスクにアサインされたリソースのスケジュールされた工 数をレポートに表示する場合に使用します。このコンテキ ストでは、地域はプロジェクトの地域を示します。
タスクにアサインされていな い工数	タスクにアサインされていない工数をレポートに表示する 場合、または特定の割り当て済み作業計画内のプロジェク トのタスクまたは関連付けられた属性をレポートでリスト する場合、このコンテキストを使用します。

HP Project Management データに関するレポートのベストプラクティス

この項では、HP Project Management データを対象に作成するアドホック運用 レポートから最適な結果を得るための推奨事項について説明します。

工数とコスト測定値からのプロジェクトマネージャ名の分離

Project Manager オブジェクトとともに工数またはコスト測定値を含むクエリ を作成しないでください。プロジェクトに複数のマネージャがいる場合、こ のようなクエリを作成すると、正しくない工数とコストの合計が生成される 可能性があります。

レポートの目的が各プロジェクトマネージャに関連付けられている工数とコ ストを表示するだけの場合、クエリ内ではAll Project Managers オブジェクトを 使用し、プロジェクトマネージャ名で検索するためのフィルタの作成には Project Manager オブジェクトを使用してください。それでも工数とコスト測定 値とともにProject Manager オブジェクトを使用する場合は、別個のクエリを作 成します。つまり、ほかの関連するディメンションを持つ測定値を使用する クエリと、プロジェクトとプロジェクトマネージャ情報に対するもう1つのク エリです。

実績工数が記録されていないサマリタスク: 地域情報の欠落

レポートクエリにタスクディメンション、工数測定値、地域ディメンション が含まれている場合、結果のレポートには、実績工数が記録されていないサ マリタスクの地域情報は表示されません。地域ディメンションおよび工数と コスト測定値間の関係は、タスクレベルより高いレベル(プロジェクトレベル など)で使用するように想定されています。

実績工数が記録されていないサマリタスク:レポート結果の追加行

タスク属性、プロジェクト属性、リソース名、すべての工数測定値(実績工 数、アサインされているスケジュール工数、アサインされていないスケジュー ル工数、見積もり残存工数)を含むレポートクエリを作成した場合、レポート 結果には、実績工数が記録されていないサマリタスクに対してリソース名が 「アサインされていない」の追加行が含まれます。

レポート結果にこの追加行を含めない場合、追加行を排除するフィルタ条件 をクエリに追加するか、生成されたクエリを変更して、タスクディメンショ ンと工数ファクト間の外部結合を内部結合にします (デフォルトでは、PM派 生ユニバースによって行われる)。

所定のプロジェクトに対して同じ名前を持つ複数のタスクの工数のレポート

BusinessObjectsは、クエリ内のすべてのディメンションでファクトをグループ 化し、集計された測定値を正しく表示します。つまり、工数測定値に対して 提供されたすべてのディメンションが同じ場合、これらのディメンションは1 つにグループ化されます。

プロジェクトタスクの工数測定値に関するレポートを作成する場合、所定の プロジェクトのいくつかのタスクに同じ名前がある場合、レポートされる合 計工数は間違って集計される可能性があります。この問題を回避するには、ク エリに親タスク名などの属性を含めて、同じ名前のタスクを区別するように します。

プロジェクトの見積もり残存工数に関するレポート

プロジェクトの信頼できる見積もり残存工数を表示するレポートを作成する には、プロジェクトの作成時にプロジェクト設定内で[見積もり残存工数をト ラッキングする]フラグを設定します。

レポートクエリの [結果] セクションにEstimated Remaining Effort オブジェクト を含める場合、Track ERE オブジェクトを次のように使用します。

=If([Track ERE] = 1) Then [Estimated Remaining Effort] Else ""

運用レポートでのコスト値の解釈

PPM Centerでは、管理者は、COST_CAPITALIZATION_ENABLEDサーバ設定パ ラメータをtrueに設定することで、資産計上可能なコストのトラッキングを 有効にできます。コスト情報を表示する PPM Centerの各ページでは、この設 定を確認します。ただし、Operational Reportingでは、この設定を確認しません。

PPM Centerインスタンスが資本コストをトラックするように設定されていな い場合、実績コストは運用レポートの運用コストの下に表示されます。PPM Centerでは、ユーザがプロジェクトの資産計上されたコストを送信した後で も、管理者はCOST_CAPITALIZATION_ENABLEDパラメータ設定を変更できま す。ただし、Operational ReportingではCOST_CAPITALIZATION_ENABLEDパラ メータ設定を確認しないため、ユーザがそのプロジェクトの資産計上された コストを入力済みの場合、COST_CAPITALIZATION_ENABLEDが PPM Centerイ ンスタンス上でどのように設定されているかに関わらず、運用レポートには 資本コストが表示されます。

HP Project Managementのアドホックレポートの作成

PPM Center に付属する PM派生ユニバースには、HP Project Management データ を対象にユーザが独自の運用レポートを作成できるクラスとオブジェクトが 含まれます。以下に示すのは、HP Project Management データを対象に作成で きるアドホックレポートのごく一部です。

- 「スケジュールより遅れているプロジェクトタスク」
- [All Effort by Project]
- 「Project Effort by Task」
- 「Project Effort by Resource」
- 「所定のプロジェクトの実績工数とスケジュールされた工数の地域配布」
- 「次週に開始および終了するプロジェクトタスク」
- 「現在の作業計画とベースライン作業計画の属性の比較」
- [Total Scheduled Effort Vs Actual Effort]

この項では、これらのレポートのうちの1つを作成する手順と、HP Project Managementを対象に作成できるほかのアドホックレポートについて説明します。

HP Project Management データに関するアドホックレポート:例

どのプロジェクトの実行がスケジュールより遅れているかを示すレポートを 作成できます。表 3-8に、このプロジェクトタスクの開始および終了レポート の作成に使用するPM派生ユニバースオブジェクトと、それらのオブジェクト が存在する[新しいWeb Intelligenceドキュメント]ページの場所を示します。

表 3-8. スケジュールより遅れているプロジェクトに関するレポートに含める PM派生ユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Project Information	Project Name	Project Name / In list / Prompt
Project Tasks	Task Name Task Scheduled Finish Date Task Estimated Finish Date	
Project Effort		Effort for Current WorkPlan

次の例では、このレポートクエリを作成および実行するのに必要な基本手順 について説明します。Web Intelligence ドキュメントの作成方法の詳細につい ては、『BusinessObjects Enterprise InfoView User's Guide』を参照してください。

スケジュールより遅れているプロジェクトタスク

どのプロジェクトの実行がスケジュールより遅れているかを示すレポートを 作成するには、次の手順を実行します。

- 1. Webブラウザのウィンドウを開いて、InfoViewにログオンします。
- InfoViewのホームページの [Navigate] セクションで、[ドキュメントー覧] を クリックします。



ドキュメントー覧に表示されるフォルダおよびオブジェクトは、ユーザがログオンしたア カウント、BusinessObjects Enterprise管理者によってユーザに付与されている権限、およ びユーザとその管理者が有効にしている設定に応じて変化します。

🍪 ホーム ドキュメント一覧 開く → 送信先 → ダッシ						
🔁 😂 I 🍣 I	新規	作成 🔹 追加 🖌 整理 🖌 アクション				
^白 すべて	2	バブリケーション				
🔤 お気	-	Web Intelligence ドキュメント				
- 🔤 受信;	-	Desktop Intelligence ドキュメント				
🖻 🚞 パブリ	æ	アナリティック				
		カテゴリ				
		フォルダ				

3. [新規作成] リストで、[Web Intelligence ドキュメント] を選択します。

BL	ISINESSOBJECTS INFOVI	EW		Business Objects an SAP company
🌾 🤣	トーム ドキュメント一覧 開く ・	送信先 - ダッシュボード - ヘル	ブ 基本設定	バージョン情報 ログアウト
Web) Intelligence ドキュメント - 新規	駅キュメント		
۵	Universe 🔺	Description	Owner	Folder
-	Activity		Admini	strator
8	eFashion	eFashion retail Data Warehouse created 14 Oct 1998, update April 2002. 89,000+ row fact table. Version 6.0	d 3 Admini	strator
-	eFashion	eFashion retail Data Warehouse dated 14 Oct 2007. 89,000+ fact table. Version 13	row Admini	strator /webi universes
-	FM Derived Universe	HP PPM Financial Management Universe. Version 9.12	Admini	strator /WEBI

- 4. 使用可能なユニバースのリストで、[PM Derived Universe] を選択します。
- 5. [警告 セキュリティ]ダイアログボックスが開き、Javaアプリケーションコ ンポーネントに関するセキュリティ上の問題が勧告され、安全でない可能 性があるコンポーネントをブロックできます。[いいえ]をクリックします。

활告 - セキュリティ X
Javaが、セキュリティ問題の発生が考えられるアプリケーション・ コンボーネントを発見しました。
名前: Java_Report_Panel 危険である可能性のあるコンボーネンドは実行しないでください。(推奨) 詳細信報MO
アプリケーションに署る付きと署るなしの両方のコードが含まれています。 アプリケーションのペンダーに問い合せて、アプリケーションが修正されていないことを確認してください。

左側のペインの[**データ**]タブに、PM派生ユニバースで使用可能なすべて のクラスおよびオブジェクトが一覧されます。

- 6. [Project Information] クラスフォルダを展開します。
- [Project Name] オブジェクトを右上の [結果オブジェクト] セクションにド ラッグし、次に [Project Name] オブジェクトを右下の [クエリーフィルター] セクションにドラッグします。
- 8. [**クエリーフィルター**] パネルで、[Project Name] ボックスの右端にあるリス トボタン (注:) をクリックし、[**プロンプト**] を選択します。



 [データ] タブで、[Project Tasks] クラスフォルダを展開し、[Task Name]、 [Task Scheduled Finish Date]、[Task Estimated Finish Date] の各オブジェ クトを[結果オブジェクト] セクションまでドラッグします。

- [データ] タブで、[Project Effort] クラスフォルダを展開し、[Effort for Current WorkPlan] オブジェクトを [クエリーフィルター] セクションまで ドラッグします。
- 11. [クエリーの実行] をクリックします。

<u>≝</u> りエリー コンテキスト	×
コンテキストを選択:クエリー 1	
Actual effort for a task by resource	
Cost at task level	
Project Managers	
Scheduled effort for a task by assigned resource	
Unassigned effort for Tasks	
党8月 :	
OK キャンセル ヘルプ	

 この例のように、アドホックレポートクエリを作成するために選択したオ ブジェクトのセットが複数の結合パスを通じて取得可能な場合、[クエ リーコンテキスト]ダイアログボックスが表示され、クエリのコンテキス トを選択するよう求められます。[Scheduled effort for a task by assigned resource]を選択し、[OK] をクリックします。

リストのコンテキストがレポート結果にどのように影響するかを判断するには、コンテキ スト名をクリックし、[**説明**] ボックスに表示される内容を確認します。

HP Project Managementデータに関するレポートのコンテキストについては、「HP Project Managementのアドホックレポートのコンテキスト」(39ページ)を参照してください。

[プロンプト]ダイアログが表示されます。

13. レポートに含めるプロジェクトを指定し、[**クエリーの実行**] をクリックします。

- 14. 表 3-16 にリストされているオブジェクトをレポートクエリに追加するだけでなく、このレポートでは、どのプロジェクトタスクが遅れているかを検出する変数の作成も求められます。遅延タスク用の変数を作成するには、次の手順を実行します。
 - a. Reporting ツールバーの [変数エディタ] をクリックします。



- b. [名前] ボックスに、「Delayed」と入力します。
- c. [資格] リストで、[ディメンション] が選択された状態のままにします。

d. [式] ボックスで、次の式を追加します。

```
=If([Task Estimated Finish Date]>
[Task Scheduled Finish Date]) Then "Y" Else("N")
```

変数エティタ			
変数の定義			
名前: Delayed			
2848			
■118· ■ J13J24J			
種類: 不明			
त्र :			
=If([Task Estimated Finish Date]>[Task S	icheduled Finish Date]) Then ^	Y" Else("N")	~
			×
データ		演算子	
□ 🚽 新しい Web Intelligence ドキュメント	⊡ <u>⊖</u> ₫^(7	-	<u> </u>
Task Estimated Finish Date	Asc		
── Iask Name ✓ Iask Scheduled Finish Date	BlockName)	
	- Ceil Char	+	
	ColumnNumber	<	
	Concatenation		-
说明	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		

e. [OK] をクリックします。

15. [データ] タブで、新たに [Delayed] 変数を選択します。



- **16**. 変数を [**レポート**] タブまでドラッグし、[**Delayed**] 列を表示する場所に挿入します。
- 17. レポートのタイトルを指定します。

Project Name	Task Name	Task Scheduled Finish Date	Task Estimated Finish Date	Delayed
ACME Company Intranet	Intranet	3/23/08	3/25/08	Y
ACME Company Intranet	ATG Approval	3/8/08	3/20/08	Y
ACME Company Intranet	Build Solution	3/23/08	3/23/08	Ν
ACME Company Intranet	Build Test Environment	3/9/08	3/9/08	N
ACME Company Intranet	Compliance Approval	3/8/08	3/8/08	Ν
APO - Pilot	Conduct Training Classes	3/9/08	3/22/08	Y
APO - Pilot	Design Reviews	3/8/08	3/8/08	Ν
APO - Pilot	Develop Detailed Design	3/12/08	3/12/08	Ν
APO - Pilot	Develop Solution Design Document	3/9/08	3/17/08	Y

Project Tasks Running Behind Schedule

18. ドキュメントに名前を付けて保存します。

All Effort by Project

プロジェクト別のすべての工数に関するレポートでは、選択したプロジェクトのスケジュールされた工数(アサイン済みと未アサイン)、実績工数、見積もり残存工数を表示できます。特定のプロジェクトまたは複数のプロジェクトをフィルタしなければ、レポート結果には、すべてのプロジェクトの工数 情報が含まれます。

表 3-9に、Effort by Project レポートの作成に使用するPM派生ユニバースオブ ジェクトを示します。

表 3-9. プロジェクト別にグループ化したすべての工数を表示するレポート用の PM派生ユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Project Information	Project Name	Project Name / In list / Prompt
Project Effort	Assigned Scheduled Effort Unassigned Scheduled Effort Estimated Remaining Effort Actual Effort	Effort for Current Workplan

次の図に、このレポートのサンプル結果を示します。

All Effort by Project

Project Name	Assigned Scheduled Effort	Unassigned Scheduled Effort	Estimated Remaining Effort	Actual Effort
ACME Company Intranet		464	464	0
ACME Intranet		616	604.36	8
APO - Pilot	640	0.16	40	576
AP Web Interface		616	616	0
Barcode Asset Collection		616	616	0
Billing Systems Integration	1,640	80.16	1,600	120
Bill Pay Application		624	1,064	20
Bill Pay - QA Testing Project		1,000	1.000	0
Business Unit Integration		8	0	62

選択したプロジェクトのタスク(サマリまたはリーフ)に関連付けられたスケ ジュールされた工数(アサイン済みと未アサイン)、実績工数、見積もり残存 工数を表示する Project Effort by Task レポートを作成できます。この工数情報 は、サマリタスクの集計値として表示されます。レポートフィルタとしてプ ロジェクト名を指定しない場合、レポートには、タスクレベルのすべてのプ ロジェクトの工数が表示されます。

表 3-10に、Project Effort by Task レポートの作成に使用するPM派生ユニバース オブジェクトを示します。

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Project Information	Project Name	Project Name / In list / Prompt
Project Effort	Assigned Scheduled Effort Unassigned Scheduled Effort Estimated Remaining Effort Actual Effort	Effort for Current Workplan
Project Tasks	Task Name Task Type	

表 3-10. Project Effort by Task レポート用のPM派生ユニバースオブジェクト



オブジェクトをWeb Intelligence ドキュメントに追加する方法の例については、「HP Project Management データに関するアドホックレポート: 例」(44ページ)の手順を参照してください。

次の図に、このレポートのサンプル結果を示します。

Project Name	Assigned Scheduled Effort	Unassigned Scheduled Effort	Actual Effort
ACME Company Intranet		464	0
ACME Intranet		616	8
CRM One World	1,272	448.16	0
Distribution Access		616	0
eMail Order Entry		1,838	0
ERP Financial Upgrade	1,720	118	78
Neptune II	2,032	1,136	330
Intranet 2010	112	496	0
J2EE Migration	128	480	0
Marketing WebPortal V2		1,696.24	667.28

Project Effort by Task

Project Effort by Resource

選択したプロジェクトの個別リソース別のタスク(サマリまたはリーフ)に関 連付けられたスケジュールされた工数(アサイン済みと未アサイン)、実績工 数、見積もり残存工数を表示する Project Effort by Resource レポートを作成で きます。サマリタスクの工数値は集計されません。レポートフィルタとして プロジェクト名を指定しない場合、レポートには、タスクレベルのすべての プロジェクトの工数が表示されます。

表 3-11 に、Project Effort by Resource レポートの作成に使用する PM 派生ユニ バースオブジェクトを示します。

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ	
Project Information	Project Name	Project Name / In list / Prompt	
Project Effort	Assigned Scheduled Effort Unassigned Scheduled Effort Estimated Remaining Effort Actual Effort		
Project Tasks	Task Name Task Type		
Resources	Resource		

表 3-11. Project Effort by Resource レポート用のPM派生ユニバースオブジェクト



オブジェクトをWeb Intelligence ドキュメントに追加する方法の例については、「HP Project Management データに関するアドホックレポート: 例」(44ページ)の手順を参照してください。

所定のプロジェクトの実績工数とスケジュールされた工数の地域配布

リソースがいくつかの異なる地域に配置されているプロジェクトのマネージャは、すべての地域にわたる工数(アサインされていないスケジュールされた工数、アサインされているスケジュールされた工数、実績工数)の配布の概要を迅速に提供するレポートを作成できます。表 3-12に、このレポートの作成に使用するPM派生ユニバースオブジェクトと、それらのオブジェクトが存在する[新しいWeb Intelligenceドキュメント]ページの場所を示します。

表 3-12. プロジェクトの実績工数とスケジュールされた工数の地域配布に関する レポートに含めるPM派生ユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Project Information	Project Name	Project Name / In list / Prompt
Region	Region Name	
Project Effort	Assigned Scheduled Effort Unassigned Scheduled Effort Actual Effort	Effort for Current WorkPlan



オブジェクトをWeb Intelligence ドキュメントに追加する方法の例については、「HP Project Management データに関するアドホックレポート: 例」(44ページ)の手順を参照してください。

次週に開始および終了するプロジェクトタスク

複数のプロジェクトのマネージャは、すべてのプロジェクトタスク、次週に 開始または終了するようにスケジュールされているすべてのタスクのスケ ジュールされた開始日と終了日を表示するレポートを作成できます。プロ ジェクトマネージャは、これらのレポートデータを日付またはプロジェクト 別にグループ化できます。表 3-13に、このプロジェクトタスクの開始および 終了レポートの作成に使用するPM派生ユニバースオブジェクトと、それらの オブジェクトが存在する[新しいWeb Intelligenceドキュメント]ページの場所 を示します。

表 3-13. 次週に開始または終了するようにスケジュールされているプロジェクトタ スクに関するレポートに含めるPM派生ユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Project Information	Project Name	Project Name / In list / Prompt
Project Tasks	Task Name Task Status Task Scheduled Start Date Task Estimated Finish Date	Task Scheduled Start Date / Between / Prompt And Prompt Task Estimated Finish Date e / Between / Prompt And Prompt
Project Workplans		Active Workplan
Project Effort		Effort for Current WorkPlan



オブジェクトをWeb Intelligence ドキュメントに追加する方法の例については、「HP Project Management データに関するアドホックレポート: 例」(44ページ)の手順を参照してください。

次の図に示すように、[**クエリーフィルター**] セクション内のオブジェクトをネ ストします。

結果オブ	ቻፓታኑ	🔻 X 🕺
d Pro	nject Name 🖉 Task Name 🍼 Task Status 🍼 Task Scheduled Start Date	
クエリー:		9 🕅 🗙 🕺
AND	✓ Active Workplan ✓ Project Name リスト内 、 値の入力Project Name ? [注] OR 「Task Scheduled Start Date 範囲内 、 入力Task Scheduled Start Date(開始)? ? [注] および 入力Task Scheduled Start Date(終了)? ✓ Task Estimated Finish Date 範囲内 、 入力Task Estimated Finish Date(開始)? ? [注] および 入力Task Estimated Finish Date(終行)?	Დ.Щ): Დ.Щ

[クエリーコンテキスト] ダイアログボックスが開き、クエリのコンテキストを 選択するように求められたら、[Scheduled effort for a task by assigned resource] を選択します。 次の図に、特定のプロジェクトの次週に開始または終了するようにスケ ジュールされているタスクに関するレポートの結果の例を示します。

Project Name	Task Name	Task Status	Task Scheduled Start Date	Task Estimated Finish Date
DJM Project with Financial Summary	LEAF TASK 2.2	Ready	3/9/11	4/28/11
DJM Project with Financial Summary	LEAF TASK 2.4	Ready	3/9/11	4/28/11
DJM Project with Financial Summary	MILESTONE 1	Pending Predecessor	4/28/11	4/28/11
DJM Project with Financial Summary	SUMMARY TASK 2	Active	3/7/11	4/28/11

Tasks Starting and Finishing During the Next Work Week DJM Project with Financial Summary

現在の作業計画とベースライン作業計画の属性の比較

現在の作業計画とベースライン作業計画の属性を比較するレポートを作成で きます。

表 3-14に、このレポートの作成に使用する PM 派生ユニバースオブジェクト と、それらのオブジェクトが存在する [新しい Web Intelligence ドキュメント] ページの場所を示します。

表 3-14. 現在の作業計画とベースライン作業計画の属性を比較するレポートに含め るPM派生ユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Project Information	Project Name	Project Name / In list / Prompt
Project Workplan	Workplan Name Workplan Type Name	Is Active / Equal to / Constant (Y)
Project Header	Scheduled Duration Scheduled Finish Date Percent Complete	
Project Effort	Assigned Scheduled Effort Unassigned Scheduled Effort Estimated Remaining Effort Actual Effort	



オブジェクトをWeb Intelligence ドキュメントに追加する方法の例については、「HP Project Management データに関するアドホックレポート: 例」(44ページ)の手順を参照してください。

次の図に、現在の作業計画とベースライン作業計画の属性を比較するように 設計されたレポートの結果の例を示します。

Project Name	Workplan Name	Workplan Type Name	Scheduled Duration	Scheduled Finish Date	Percent Complete	Assigned Scheduled Effort	Unassigned Scheduled Effort	Estimated Remaining Effort	Actual Effort
65 nm ASIC Alpha Tools - FY11	65 nm ASIC Alpha Tools	Workplan	343	4/14/12	15	38,511.6	89.6	21,035.6	3,920.92
65 nm ASIC Alpha Tools - FY11	Baselined On9/25/11(2)	Baseline	343	4/14/12	15	31,247.6	89.6	8,139	2,942.17

Project Status by Project Manager

プロジェクトマネージャにアサインされているプロジェクトの現在のステー タスとヘルスを迅速に確認できるレポートを作成できます。表 3-15に、Project Status by Project Manager レポートの作成に使用する PM 派生ユニバースオブ ジェクトと、それらのオブジェクトが存在する [新しいWeb Intelligence ドキュ メント]ページの場所を示します。

表 3-15. プロジェクトマネージャにアサインされているプロジェクトのステータス に関するレポートのクエリに追加するPM派生ユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Project Information	Project Name	Project Name / In list / Prompt
Project Header	All Project Manager Project Status Cost Health Issue Health Schedule Health Overall Health	Project Manager / In list / Prompt



オブジェクトをWeb Intelligence ドキュメントに追加する方法の例については、「HP Project Management データに関するアドホックレポート: 例」(44ページ)の手順を参照してください。

Ross Nelson

Project Name	Project Status	Cost Health	Issue Health	Schedule Health	Overall Health
MIPSCMS11 Clean Sheet Onboarding - Q1	Active		GREEN	GREEN	GREEN
MIPSPUB10 CS – EPO Deployments	Active		GREEN	GREEN	GREEN
DCC Oracle Extranet ie Flying Machine	Cancelled				NONE
ECOMKVHFY08-Shadow IT implementations	Cancelled			NONE	NONE
MIPSHPC09 NextGen Adaptive Publishing - Editorial and	Cancelled			NONE	NONE
ECOMKSHPC08 - DSPP: RepTool migration & ASTA/DC	Complete			NONE	NONE
ECOMKVHFY08-DCC DSPP	Complete			RED	NONE
ECOMKVHFY08-DSPP funding - FY08	Complete			NONE	NONE
ECOMKVHFY08-ISV Dashboard funding - FY08	Complete			NONE	NONE
MIPSCMS10 CS - EPO PRISM Image Management Retire	Complete			NONE	NONE
MIPSPUB09 NG - hp.com Clean Sheet	Complete		GREEN	NONE	GREEN
MIPSPUB10 CS - Campaign Support	Complete			NONE	NONE
MIPSPUB10 CS - EPO Download Solution	Complete		GREEN	NONE	GREEN
MIPSPUB10 CS – EPO Product Content Integration	Complete			NONE	NONE
TSG Marketing Innovation - DSPP & ISV Dashboard	Complete	GREEN		RED	NONE
MIPSPUB10 NextGen Solution Deployment eCommerce	Estimated		GREEN		GREEN
ECOTSGCAYN08 - TSG Cayenne	Interlocked		GREEN		GREEN
ECOMKSHPC09 NextGen Adaptive Pub Portlet Construct	Obsolete		GREEN	NONE	GREEN

Total Scheduled Effort Vs Actual Effort

プロジェクトマネージャとして、担当しているプロジェクトのスケジュール された合計工数(アサインされている工数とアサインされていない工数を含 む)、実績工数、見積もり残存工数を表示するレポートを作成できます。

表 3-16に、このレポートをInfoViewで作成するためにWeb Intelligenceドキュ メントに追加するPM派生ユニバースオブジェクトを示します。

表 3-16. プロジェクトのスケジュールされた工数、実績工数、見積もり残存工数を 比較するレポートに含めるPM派生ユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Project Information	Project Name	Project Name / In list / Prompt
Project Effort	Assigned Scheduled Effort Unassigned Scheduled Effort Actual Effort Estimated Remaining Effort	Effort for Current Workplan
Project Header	Project Status	



オブジェクトをWeb Intelligence ドキュメントに追加する方法の例については、「HP Project Management データに関するアドホックレポート: 例」(44ページ)の手順を参照してください。

表 3-16にリストされているオブジェクトをレポートクエリに追加するだけで なく、このレポートでは、スケジュールされた合計工数(アサインされている スケジュールされた工数とアサインされていないスケジュールされた工数の 合計)を計算する変数の作成も求められます。

スケジュールされた合計工数用の変数を作成するには、次の手順を実行します。 1. すべてのオブジェクトをレポートクエリに追加したら、クエリを実行します。



2. Reporting ツールバーの [変数エディタ] (🚅) をクリックします。

変数エディタ			
変数の定義			
名前: Total Scheduled Effort			
資格: 😐 メジャー			<u> </u>
種類: 不明			
式: =[Assigned Scheduled Effort]+[Unassigne	ed Scheduled Effort]		
	a benedated Enorg		
			^
	 88##	油性 7	
T -X		ノノロー	
Project Name	Abs		
— 🔎 Project Status	Asc	/	
Actual Effort	Average	5	
Assigned Scheduled Effort Estimated Remaining Effort	- Geil	*	
Unassigned Scheduled Effort	Char	+	
	- ColumnNumber		
	Concatenation		
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
i兑8月			
Unassigned Scheduled Effort			
Scheduled effort for a task that is not ye	t assigned to a resource. Unassign	ned effort for cancelled projecs	t and tasks is ignored.
			1

- 3. [名前] ボックスに、「Total Scheduled Effort」と入力します。
- 4. [資格] リストから、[メジャー]を選択します。
- 5. [式] ボックスで、次の式を追加します。

=[Assigned Scheduled Effort] + [Unassigned Scheduled Effort]

- 6. [**OK**] をクリックします。
- 7. 左側のペインで、[データ]タブをクリックします。
- 新しい [Total Scheduled Effort] オブジェクトを選択し、右側の [レポート] タブまでドラッグし、レポートの [Total Scheduled Effort] 列を表示する場 所に挿入します。

次の図に、プロジェクトのスケジュールされた工数、実績工数、見積もり残 存工数を比較するレポートの結果の例を示します。

Project Status	Assigned Scheduled Effort	Unassigned Scheduled Effort	Total Scheduled Effort	Estimated Remaining Effort	Actual Effort
Active		464	464	464	0
Assign Project Manager		616	616	604.36	8
Construct	640	0.16	640.16	40	576
Detailed Project Definition		616	616	616	0
Assign Project Manager		616	616	616	0
Detailed Project Definition	1,640	80.16	1,720.16	1,600	120
Check Test Completion Status		624	624	1,064	20
Define QC Profile		1,000	1,000	1,000	0
Detailed Project Definition		8	8	0	62
	Project Status Active Assign Project Manager Construct Detailed Project Definition Assign Project Manager Detailed Project Definition Check Test Completion Status Define QC Profile Detailed Project Definition	Assigned Scheduled EffortActive	Assigned Scheduled EffortUnassigned Scheduled EffortActive464Active464Assign Project Manager616Construct640Detailed Project Definition616Detailed Project Definition1,640Detailed Project Definition1,640Detailed Project Definition1,640Detailed Project Definition1,640Detailed Project Definition1,640Detailed Project Definition1,640Status624Define QC Profile1,000Detailed Project Definition8	Assigned Scheduled EffortUnassigned Scheduled EffortTotal Scheduled EffortActive464464Active464464Assign Project Manager616616Construct6400.16640.16Detailed Project Definition616616616Detailed Project Definition1,64080.161,720.16Check Test Completion Status624624624Define QC Profile1,0001,0001,000Detailed Project Definition1,84088.88	Assigned Scheduled EffortUnassigned Scheduled EffortTotal Scheduled EffortEstimated Remaining EffortActive464464464464Assign Project Manager616616616604.36Construct6400.16640.1640Detailed Project Definition616616616616Assign Project Definition1,64080.161,720.161,600Check Test Completion Status6246241,064Define QC Profile1,0001,0001,0001,000Detailed Project Definition1,0008880

Total Scheduled Effort Vs Actual Effort

第4章 HP Resource Managementのレポート

本章の概要

この章では、HP Resource ManagementのOperational Reporting について説明し ます。また、HPが提供する事前設定済みのDemand Vs Capacity Report と、HP Resource Managementデータを対象に作成できる多くのアドホックレポートの 一部に関する情報を提供します。



組織で複数言語のOperational Reportingを有効にしている場合、使用しているロケールに対し て運用レポートデータを正しく表示するようにInfoViewを設定していることを確認してくださ い。手順については、「複数言語のOperational Reportingのロケールの設定」(17ページ)を参照 してください。

Demand Vs Capacity Report (デマンドVsキャパシティレポート)

HPがOperational Reporting に提供する Demand Vs Capacity Report は、組織内で のリソース使用を最適化するために、デマンドを確認して事前に管理する目 的で設計されています。このレポートでは、PPM Centerのリソースキャパシ ティ(名前付きおよび名前なしのリソースプールから取得)、デマンド(コミッ ト済み、ソフトブック済み、および未処理のデマンドで分類されたスタッフィ ングプロファイルから取得)、およびタイムシートから取得された実績工数を 参照できます。Demand Vs Capacity Report を使用して、地域、リソースプール レベル、またはロールごとにデータをグループ化し、さまざまなロールにつ いてデマンドとキャパシティを比較できます。



キャパシティは、スタッフィングプロファイルまたはポジションにはアサインされないため、 リソースキャパシティは、スタッフィングプロファイルのコンテキストではなく、リソースプー ルのコンテキスト内で取得されます。リソースのキャパシティは、リソースをどのポジション にどのように割り当てるのかを知らない可能性のあるリソースプールマネージャによってアサ インされます。 Demand Vs Capacity Reportに示される実績工数は、タイムシートに記録された キャンセル済みの時間を除き、リソースがタイムシートに記録したすべての 時間を反映します。タスクに対して記録された時間が却下された場合、その 実績工数はレポートから除外されます。



PPM CenterのTM-PM同期サービスは、タイムシートの実績をプロジェクトにロールアップします。PPM Centerシステムでこのサービスをスケジュール実行する頻度によっては、Demand Vs Capacity Reportに表示される実績工数がスタッフィングプロファイルの実績と必ずしも一致しない可能性があります。

レポートデータのグループ化

レポートに表示されるデマンド、キャパシティ、および工数の情報は、地域、 リソースプール、またはロールに基づいてグループ化できます。選択したグ ループ化パラメータに基づいて(一度に選択できるグループ化パラメータは1 つのみです)、レポートに各グループの総計値が表示されます。

表 4-1に、選択したグループに基づいて、Demand Vs Capacity Report にデータ がどのように表示されるかを示します。

選択グループ	表示データ
ロール	 キャパシティは、ロールレベルの合計として表示されます。デマンドは、ロールレベルでスタッフィングプロファイルごとに表示され、各ロールレベルの合計も表示されます。 リソースがデマンドを満たすようにポジションにアサインされている場合、次のいずれかが成立します。 対応するキャパシティに関連付けられたリソースロールは、このリソースがアサインされているポジションのロールと同じです。つまり、キャパシティロールは、デマンドロールと同じです。 対応するキャパシティに関連付けられたリソースロールは、このリソースがアサインされているポジションのロールと同じです。 対応するキャパシティロールは、デマンドロールと同じではありません。 いずれの場合でも、Demand Vs Capacity Reportには、リソースのロールに応じてキャパシティが表示され、ポジションのロールに応じてデマンドが表示されます。

表 4-1. Demand Vs Capacity Report でのグループに基づくデータ表示

選択グループ	表示データ
リソースプール	キャパシティとデマンドは、両方ともロールレベルでリソースプールご とに表示されます。名前付きと名前なし両方のリソースプールに基づく キャパシティを表示できます。
	キャパシティとデマンドは、両方ともロールレベルで地域ごとに表示されます。
地域	リソースプールのキャパシティは、リソースプールの地域に対して評価 され、デマンドは、未処理と処理済み両方のデマンドに関して、スタッ フィングプロファイルポジションのリソースプールの地域に対して評 価されます。ただし、この原則には例外があり、リソースプールに関連 付けられていない未処理のデマンドが存在する場合、レポートでは、ス タッフィングプロファイルの地域に対して未処理のデマンドが評価さ れます。
	注記 :スタッフィングプロファイルのポジションに対するデマンドを 表示するクエリを含むアドホックの Demand Vs Capacity Report では、 「Demand from Staffing Profile Region」コンテキストを選択すると、す べてのデマンドがスタッフィングプロファイルの地域に対して評価さ れます。リソースプールのリソースのキャパシティを表示するクエリを 含むアドホックの Demand Vs Capacity Report では、すべてのキャパシ ティがリソースプールの地域に対して評価されます。

表 4-1. Demand Vs Capacity Reportでのグループに基づくデータ表示

Demand Vs Capacity Reportのデータに影響する地域カレンダー

表 4-2 に、Demand Vs Capacity Reportのリソースキャパシティを計算する方法 に影響を与えるカレンダーを示します。

表 4-2. さまざまな PPM Center エンティティのキャパシティ (時間、人日、および FTE 単位) の計算に使用されるカレンダー

	カレンダー	説明			
А	リソース地域カレンダー	リソースの地域に関連付けられたカレンダー。			
В	リソースカレンダー	リソースの地域カレンダー (A) から導出される、リソー ス詳細ページのカレンダー。			
С	リソースプールカレンダー	リソースプールの地域を介してリソースプールに関連付 けられたカレンダー。			
D	スタッフィングプロファイ ルカレンダー	スタッフィングプロファイルの地域を介してスタッフィ ングプロファイルに関連付けられたカレンダー。			
E	スタッフィングプロファイ ルのデフォルトのリソース プールカレンダー	スタッフィングプロファイルのデフォルトのリソース プールに関連付けられたカレンダー。			
F	ポジション (リソースプー ル) カレンダー	ポジションのリソースプールに関連付けられたカレン ダー。			

次の各項では、表 4-2にリストしたカレンダーがPPM Centerエンティティにどのような影響を与えるかについて説明します。

名前付きリソースのキャパシティ

名前付きリソースをリソースプールに追加すると、そのリソースの利用可能 な時間数または日数は、リソースカレンダー (B) から取得されます。FTEは、 リソース地域カレンダー (A) に対して計算されます。

名前なしリソースのキャパシティ

名前なしリソースの利用可能な時間/人日またはFTEの数は、手動で入力され、 FTEまたは時間への変換はリソースプールカレンダー (C) に対して計算され ます。 デマンド

スタッフィングプロファイルに地域カレンダーがあり、デフォルトのリソー スプールがない場合、次のようになります。

- ポジションを作成し、リソースプールをそのポジションにリンクしない場合、入力されたデマンドは、スタッフィングプロファイルカレンダー (D) に対する時間またはFTEに変換されます。
- ポジションを作成し、リソースプールをそのポジションにリンクする場合、入力されたデマンドは、ポジションのリソースプールカレンダー (F) に対する時間またはFTEに変換されます。
- ポジションのアサインを作成する場合、入力された処理済みデマンドの値は、リソースカレンダー(B)のデフォルトに設定され、時間またはFTEは、リソースの地域カレンダー(A)に対して計算されます。
- ポジションの未処理のデマンドも、ポジションのリソースプールカレン ダー(F)に対して計算されます。

スタッフィングプロファイルに地域カレンダーとデフォルトのリソースプールがある場合は、次のようになります。

- スタッフィングプロファイルのデフォルトのリソースプールは、ポジション上でこのプールをデフォルトに設定するためにだけ使用されます。デマンドの計算にポジションのリソースプールが考慮されるため、これがデフォルトのプールまたは上書きされたプールであったかは問題ではありません。
- デマンド(ポジション)と処理済みのデマンド(アサイン)間では、デマンドがFTEによって 処理される場合でも、時間数は異なるカレンダーを使用すれば変わる可能性があります。
- アサインを実行し、カレンダーを変更した場合、カレンダーの変更を反映するようにデータ が遡及して変更されることはありません。

Demand Vs Capacity Reportの実行

Demand Vs Capacity Reportを実行するには、次の手順を実行します。

- 1. Webブラウザのウィンドウを開いて、InfoViewにログオンします。
- InfoViewのホームページの [Navigate] セクションまたはヘッダパネルで、 [ドキュメントー覧] をクリックします。

ドキュメントー覧に表示されるフォルダおよびオブジェクトは、ユーザがログオンしたア カウント、BusinessObjects Enterprise管理者によってユーザに付与されている権限、およ びユーザとその管理者が有効にしている設定に応じて変化します。

- 3. ページ左側のツリーパネルで、[パブリックフォルダ] フォルダを展開し、 [HP PPM Reports] を選択します。
- 4. 右側のパネルで、[Demand Vs Capacity Report] をダブルクリックします。

[プロンプト]ダイアログに、レポートクエリで使用可能なプロンプトが一覧されます。値が必要なすべてのプロンプトにデフォルト値が割り当てられていますが、これらの値は変更できます。また、一覧されているオプションプロンプトの一部または全部に値を指定できます。

プロンプト一覧の左側にある緑のチェックマーク (♥)は、そのプロンプトが必須であり、 値が指定されていることを示します。プロンプト一覧の左側にある赤い矢印 (♥)は、そ のプロンプトが必須であり、レポートクエリを実行する前に値を指定する必要があること を示します。

5. データをさらに絞り込むには、レポートを実行する前に、次の表に一覧お よび説明されているプロンプトに情報を提供します。

プロンプトに値を指定しない場合、レポートデータにフィルタは適用されません。

プロンプト * 必須の値	説明
*Primary Grouping	レポート内でデータを分類する方法を決定します。 次のいずれかの値を選択します。 • Region • Resource Pool • Role
*Begin Period	レポートにデータを表示する最初の期間を決定し ます。[Available Periods] リストから値を選択し ます。
*End Period	レポートにデータを表示する最後の期間を決定し ます。 [Available Periods] リストから値を選択し ます。
*Time Granularity	 レポートに表示されるデータの時間間隔を決定します。次のいずれかの値を選択します。 [Year]は、期間をyyyyとして表示します。 [Half Year]は、期間をh1またはh2/yyyyとして表示します。 [Quarter]は、期間をquarter/yyyyとして表示します。 [Quarter]は、期間をmm/yyyyとして表示します。 [Month]は、期間をmm/dd/yyyyとして表示します。 [Week]は、期間をmm/dd/yyyyとして表示します。 [Week]は、期間をmm/dd/yyyyとして表示します。 [Week]は、期間をmm/dd/yyyyとして表示します。 注記:長いレポート期間を指定し、時間粒度として [Week]を選択した場合、生成されたレポートデータをMicrosoft Excelにエクスポートすると、出力されるExcelファイルのデータは、フォーマット制限の結果として切り捨てられる可能性があります。この問題を回避する唯一の方法は、Web intelligenceドキュメントをテキストファイルにエクスポートしてから、そのファイルをExcelで開くことです。この場合、ファイルフォーマットは失われます。

プロンプト * 必須の値	説明
*Time Unit	レポートにキャパシティおよびデマンドデータを 表示する際に使用する時間単位 (FTE、人日、また は時間) を決定します。次のいずれかの値を選択し ます。 • FTE
	Person DaysHours
Resource Pool	レポートに表示するリソースプールを決定します。 [Resource Pool Name] リストから1つまたは複 数のリソースプール名を選択します。
Region	レポートにデータを表示する地域を決定します。 [Region] リストから値を選択します。
Role	レポートに表示するロールを決定します。[Role Name] リストから1つまたは複数の値を選択し ます。
	InfoView に、PPM Center のリソースに定義されて いるすべてのリソースカテゴリが一覧されます。
Resource Category	[Resource Category] リストから、レポートに含 める1つまたは複数のリソースカテゴリを選択し ます。

- 6. ダイアログの一番上のリストから、プロンプトを選択します。
- InfoViewでは、ダイアログの左下にあるボックスに一部のプロンプトで使用できる値が一覧されます。選択したプロンプトに対して値が一覧されない場合は、[値の最新表示]をクリックして値を表示します。
- 8. オプションのデータフィルタを指定したら、[**クエリーの実行**] をクリック します。

Web Intelligence によってデフォルト値のデータが取得され、レポートに結果 が返されます。
Demand Vs Capacity Reportの結果

表 4-3に、Demand Vs Capacity Reportに表示される列の説明を示します。

列	説明	
Grouping category	レポートに選択されたグループカテゴリを反映します。(詳細につ いては、「*Primary Grouping」(71ページ) を参照してください)。	
Time Unit	レポートでキャパシティ、デマンド、および工数を示す際に使用 される単位 (時間、人日、FTE) を表示します。	
Resource Pool	レポートデータによって示されるリソースプールの名前と、どの リソースプールにもアサインされていないデマンドの [No Resource Pool] 行を表示します。	
Role	レポートデータが表示される各リソースプール内のロールを表示 します。[Role] プロンプトでフィルタを指定しなかった場合、こ の列には各リソースプールのすべてのロールが一覧されます。	
Time period	レポートデータの期間を示す列見出しが左から右に (最初のレ ポート期間から始まって最後のレポート期間で終わるように) 表 示されます。期間は、「*Time Granularity」プロンプトで選択した 値に基づいてフォーマットされます。	
Demand	レポートに示される各リソースプールのロールごとに(およびどのリソースプールにもアサインされていないデマンドに対して)、 「*Time Unit」プロンプトでの選択に基づいて表示される次の列副 見出しの下に一定期間におけるデマンドの内訳を表示します。 • Committed - リソースプールのリソースがコミット済みであ るデマンドを表示します。 • Soft Booked - リソースプールのリソースがソフトブック済	
Domana	みであるデマンドを表示します。	
	 Unmet - 未処理のデマンドを表示します。 	
	● Total Demand - 次を表示します。	
	各リソースプール (およびどのリソースプールにもアサインされ ていないデマンド) について、これらの列ごとに合計デマンドを 表示します。	

表 4-3. Demand Vs Capacity Reportに表示される列

列	説明
	各期間について、次のカテゴリのロール/リソースプールごとに (「*Time Unit」プロンプトで選択した単位に基づいて)キャパシ ティの内訳を表示します。
Capacity	● Named - 名前付きリソースのキャパシティを表示します。
	• Unnamed - 名前なしリソースのキャパシティを表示します。
	 Total Capacity - 名前付きおよび名前なしリソースの合計 キャパシティを表示します。
Demand Vs Capacity	各期間について、ロール/リソースプールごとの合計デマンドと合計キャパシティ間に差異がある場合、この列はその差異を表示します。デマンドがキャパシティを超えている場合、値は括弧内に赤いテキストで表示されます。キャパシティがデマンドと等しいか、デマンドを超えている場合、値は黒いテキストで表示されます。
Actual Effort	各期間について、ロール/リソースプールごとに (「*Time Unit」プ ロンプトで選択した単位に基づいて) 実績工数の内訳を表示し ます。

表 4-3. Demand Vs Capacity Reportに表示される	列
--	---

HP Resource Managementのアドホックレポート

この項では、HP Resource Managementを対象に作成できる運用レポートについ て説明し、それらのレポートのいくつかを作成する方法の例を示します。ま た、この項には、レポートで使用できるコンテキストに関する情報、アドホッ クレポートの作成における推奨事項、および運用レポートクエリでのPPM Centerユニバースオブジェクトの使用方法に関するガイドも含まれます。

HP Resource Managementのアドホックレポートのコンテキスト

HP Resource Managementのアドホックレポートを作成する場合、InfoViewに よってレポートクエリのコンテキストを選択するよう求められることがあり ます。コンテキストは、複数のディメンションおよびファクトに関連する一 意のクエリパスを作成するための、明確に定義された結合のセットで構成さ れます。

ディメンションの共通セットにレポートユニバースの複数のファクトおよび メジャーが関連している場合、複数のファクトと関連ディメンション間の結 合は、ループに陥ります。ファクトおよび関連ディメンションごとに個別の コンテキストを指定することで、ループを排除し、共通ディメンションのセッ ト全体で複数のファクトをクエリできます。

Operational Reporting では、**HP Resource Management** データを対象に作成されるアドホックレポートに次のコンテキストが提供されます。

• Resource Capacity

「Resource Capacity」コンテキストを使用すると、任意の会計期間にわたる リソース、リソースプール、ロール、および組織単位全体でキャパシティ 情報を取得できます。このコンテキストでは、地域はリソースプールの地 域を示し、ロールはリソースのプライマリロールを、組織単位はリソース プールの組織単位を示します。

Resource Demand on Resource Pool Region

「Resource Demand on Resource Pool Region」コンテキストを使用すると、地域に基づくリソースデマンドを (Demand Vs Capacity report で事前設定した とおりに)表示できます。リソースプールにアサインされたデマンドは、 リソースプールの地域でのデマンドとして処理されます。リソースプール に関連付けられていないデマンドは、スタッフィングプロファイルの地域 から取得されたものとして処理されます。

このコンテキストでは、地域はリソースプールの地域を示し、ロールはポ ジションのロールを、組織単位はスタッフィングプロファイルの組織単位 を示します。

• Resource Demand from Staffing Pool Region

「Resource Demand from Staffing Pool Region」コンテキストを使用すると、 ポジション、スタッフィングプロファイル、リソースプール、地域、およ び会計期間全体でリソースデマンドデータを取得し、デマンドのソースで ある(スタッフィングプロファイルに関連付けられた)地域を確認できます。

このコンテキストでは、地域はスタッフィングプロファイルに関連付けら れた地域を示し、ロールはポジションにアサインされたロールを、組織単 位はスタッフィングプロファイルが属する組織単位を示します。

• Resource Effort

「Resource Effort」コンテキストを使用すると、さまざまなディメンション 全体(ロール、リソースプール、スタッフィングプロファイル、地域など) で工数データを取得できます。

このコンテキストでは、地域はリソースの地域を示し、ロールはタスクの ロール(タスクにロールが存在する場合)またはリソースのプライマリ ロールを、組織単位はリソースのアサイン先のプライマリ組織単位を示し ます。

• Resource Pool in a region and its Org Unit

「Resource Pool in a region and its Org Unit」コンテキストを使用すると、地 域のリソースプールと、そのリソースプールが属する組織単位を取得でき ます。

HP Resource Management データに関するレポートのベストプラクティス

この項では、HP Resource Managementデータを対象に作成するアドホック運用 レポートで最適な結果を得るための推奨事項について説明します。

複数のビジネス目標を含むプログラムにおけるビジネス目標ごとのプログラムメジャー のグループ化

たとえば、ビジネス目標ごとにグループ化されたプログラムメジャー (Forecast、 Actuals、Approvedなど)を含むアドホックレポートクエリを作成し、そのクエ リ結果に (FM派生ユニバースの) Business Objectivesクラスから1つまたは複数 のオブジェクトを含めるとします。複数のビジネス目標を含むプログラムに 関してレポートすると、生成されるメジャーのデータに、関連するビジネス 目標の数が掛けられます。この操作により、正しくないレポートデータが生 成されます。

この問題を回避するには、プログラムにおける個別のビジネス目標の数をカ ウントするレポート変数を作成します。プログラムメジャーを表示する各ア ドホックレポートセルでこの変数を使用し、セルの合計をその値で割ります (Financial Summary Reportでは、このメカニズムが使用されます)。

リソースプールに複数のマネージャが含まれる場合のリソースプールメジャーのクエリ

たとえば、Resource Poolディメンションに対して Capacity や Demand などのメ ジャーを含むクエリを作成し、そのクエリ結果に Resource Pool Manager オブ ジェクトを含めるとします。複数のマネージャを含むリソースプールに関し てレポートすると、生成されるメジャーのデータに、リソースプールマネー ジャの数が掛けられます。この操作により、正しくないレポートデータが生 成されます。

この問題を回避するには、2つの別個のレポートクエリを作成します。1つの クエリは、メジャーを含めずに、リソースプールのディメンション(または必 要に応じてほかのディメンションオブジェクト)に関する情報を取得するよ うに設計します。もう1つのクエリは、メジャーを取得するように設計します。

データ計算に対するカレンダー設定変更の影響

カレンダー設定を変更する場合、その変更が関連タイムシートにも反映され ない限り、FTE単位で表示される実績工数データと、影響を受ける時間範囲 内の人日データは、自動的に再計算されません。

複数のマネージャを含むプロジェクトのクエリ

プロジェクトマネージャに基づいてプロジェクトをクエリする際に、クエリ にフィルタ条件を作成する場合は注意してください。プロジェクトに複数の マネージャがアサインされている場合、そのクエリによって、フィルタに指 定されたリソース名に基づいて管理されているすべてのプロジェクトが返さ れることを確認します(そのリソースが、プロジェクトにアサインされている 唯一のマネージャであるか、アサインされている複数のマネージャのうちの1 人であるかは問いません)。Project Manager オブジェクトにクエリフィルタを 作成する場合、パターンー致操作を選択し、プロジェクトマネージャのリス トから選択した名前の最初と最後にパーセント文字(%)を追加します。

デマンド、キャパシティ、および工数データのFTE単位での表示

デマンド、キャパシティ、および工数は、システムカレンダー設定に所定期 間の就業日の合計日数がゼロであると示されている場合、フルタイム従業員 (FTE)単位で計算できません。たとえば、所定の週のそれぞれの日がシャット ダウン期間の非就業日として設定されていると、その週のデマンド、キャパ シティ、および工数データは、FTEがゼロとして表示されます。ただし、時 間の値は、ゼロにならない可能性があります。この問題が発生するのは、た とえば、シャットダウン期間にリソースが作業した場合です。カレンダーに 就業日数がゼロと示されていても、キャパシティまたは工数はゼロにならな い可能性があります。

この間違いを回避するには、レポート結果のデマンド、キャパシティ、また は工数データにFTEがゼロとして表示された場合に、同じメジャーの値(時間 単位)を確認します。ゼロ以外の値は、カレンダー設定に問題があることを示 しており、その場合、時間単位で返されているデータの方が信頼できる表示 単位です(事前設定されたDemand Vs Capacity Reportでは、このメカニズムを 使用して、一定期間の就業日数がゼロであると計算された場合にFTE単位で デマンド、キャパシティ、および工数データを表示するか、または「--」とし て表示するかを決定します)。

リソースマネージャ階層に最上位レベルマネージャが含まれない場合のリソースに関するレポート

PPM Center データベースでは、リソースマネージャ階層が存在するが、最上 位レベルマネージャがその階層にアサインされていない場合、ループが発生 します。リソースデータを含めるように設計されたレポートの結果から、す べてのリソースが除外されます。この問題の発生を回避するには、最上位レ ベルマネージャがリソースマネージャ階層にアサインされていることを確認 します。

大規模データベースに対するクエリ

デフォルトでは、クエリは実行後10分でタイムアウトします。大容量のデー タを取得するクエリフィルタを選択した場合、そのクエリはタイムアウトし、 レポート結果が返されない可能性があります。この問題の発生を回避するに は、次のいずれか1つ、または両方を実行します。

- [Universe Parameters] ダイアログの [Controls] タブで、実行時間の制限値を 増やすようにユニバースパラメータを変更します。
- より小規模なデータセットを取得するようにクエリフィルタを変更します。

リソースの過剰割り当ての計算

リソースの過剰割り当てに関するレポートでは、クエリ結果にProject Nameオ ブジェクトだけでなく、Staffing Profile Nameオブジェクトを含めるようにし ます。この原則が特に重要となるのは、リソースが複数のスタッフィングプ ロファイルにアサインされている場合(その一部は独立したスタッフィング プロファイルである可能性もあります)、または組織単位のスタッフィングプ ロファイルが存在し、それがプロジェクトに関連していない場合です。Staffing Profile Nameオブジェクトを含めずにProject Nameオブジェクトのみを追加す ると、プロジェクトスタッフィングプロファイル以外のリソースに対するア サインが結果から除外され、過剰割り当てが正確に反映されない可能性があ ります。

ポジションのロールとそのポジションにアサインされたリソースのロールの比較

ポジションのロールと、そのポジションにアサインされたリソースの実際の ロールを比較するクエリを作成する場合、次の操作を実行する必要があり ます。

- ポジションのロールのRole Nameオブジェクト (Rolesクラス)を選択します。
- リソースのロールのPrimary Roleオブジェクト (Resourceクラス)を選択します。
- 「Resource Demand from Staffing Pool Region」または「Resource Demand on Resource Pool Region」コンテキストを選択します。

HP Resource Managementのアドホックレポートの作成

PPM Center に付属するRM派生ユニバースには、HP Resource Managementデー タを対象にユーザが独自の運用レポートを作成できるクラスとオブジェクト が含まれます。以下に示すのは、HP Resource Managementデータを対象に作成 できるアドホックレポートのごく一部です。

- 「プロジェクトにアサインされているリソース」
- 「リソースプールのすべてのリソース」
- 「プロジェクトのベースラインデマンドとアクティブなスタッフィングプ ロファイルデマンドの比較」
- 「デマンド、キャパシティ、および実績工数のレポート(プライマリ組織単位ごとにグループ化)」
- 「合計デマンドとキャパシティの比較(追加のリソースプールデータ 付き)」
- 「地域ごとのリソースプール」
- 「リソースカテゴリごとのすべてのリソース」
- 「スタッフィングプロファイルごとのリソースおよびロールに関するすべてのアサイン(すべての工数を表示)」
- 「リソースのスタッフィングプロファイルの詳細」

この項では、これらのレポートのうちの1つを作成する手順と、HP Resource Managementを対象に作成できるほかのアドホックレポートについて説明します。

HP Resource Management データに関するアドホックレポートの作成:例

さまざまなリソースプールのリソースをプロジェクト全体に配布する方法を 把握する必要のあるリソースプールマネージャは、この情報を提供するレ ポートを迅速に作成できます。表 4-4に、このレポートの作成に必要なRMユ ニバースオブジェクトと、それらのオブジェクトが存在する[新しいWeb Intelligenceドキュメント]ページの場所を示します。

表 4-4. PPM Centerのリソースプールのリソースに関するレポートに含める RMユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Project Information	Project Name	Project Name / In list / Prompt
Resources	Resource Name	
Resource Pools	Resource Pool Name Resource Pool Managers	
Roles	Role Name	

次の例では、このレポートクエリを作成および実行するのに必要な基本手順 について説明します。Web Intelligence ドキュメントの作成方法の詳細につい ては、『BusinessObjects Enterprise InfoView User's Guide』を参照してください。

プロジェクトにアサインされているリソース

プロジェクトにアサインされているリソースプールおよびリソースを表示す るレポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. Webブラウザのウィンドウを開いて、InfoViewにログオンします。
- InfoViewのホームページの [Navigate] セクションで、[ドキュメントー覧] を クリックします。



ドキュメントー覧に表示されるフォルダおよびオブジェクトは、ユーザがログオンしたア カウント、BusinessObjects Enterprise管理者によってユーザに付与されている権限、およ びユーザとその管理者が有効にしている設定に応じて変化します。



3. [新規作成] リストで、[Web Intelligence ドキュメント] を選択します。

BUS	INESSOBJECTS	INFOVIEW		Business Objects an SAP company
🇞 ホー	ム ドキュメント一覧	開く ▼ 送信先 ▼ ダッシュボード ▼	ヘルプ 基本設定	Ê│ バージョン情報│ ログアウト
Web I	ntelligenceドキュメン	ハ - 新規ドキュメント		
D I	Universe 🔺	Description	Ow	ner Folder
	Activity		Adr	ministrator
*	eFashion	eFashion retail Data Warehouse create April 2002. 89,000+ row fact table. Ver	d 14 Oct 1998, updated 3 Adr sion 6.0	ninistrator
8	eFashion	eFashion retail Data Warehouse dated fact table. Version 13	14 Oct 2007. 89,000+ row Adr	ministrator /webi universes

- 4. 使用可能なユニバースのリストで、[RM Derived Universe] を選択します。
- 5. [警告-セキュリティ]ダイアログボックスが開き、Javaアプリケーションコ ンポーネントに関するセキュリティ上の問題が勧告され、安全でない可能 性があるコンポーネントをブロックできます。[いいえ]をクリックします。



左側のペインの[**データ**]タブに、RM派生ユニバースで使用可能なすべて のクラスおよびオブジェクトが一覧されます。

6. [Project Information] クラスフォルダを展開します。

 [Project Name] オブジェクトを右上の [結果オブジェクト] セクションにド ラッグし、次に [Project Name] オブジェクトを右下の [クエリーフィルター] セクションにドラッグします。



クエリー フィルタ	
Project Name リスト内 、 定数を2	カ員
	✔ 定数
	一覧からの値
	プロンプト
	他のクエリーからの結果
	このクエリーからのオブジェクト

9. [**クエリーフィルター**] パネルで、[**プロンプトプロパティ**] ボタン (猛) をク リックします。

<u>≗</u> プロンプト	X
プロンプトのテキスト:値の入力Proje	ct Name:
死 לכטל ליעסל 🕅	
🔽 値の一覧を伴うプロンプト	□ 一覧から選択
▶ 最後に選択した値を維持	□ オプション プロンプト
□ デフォルト値の設定	
	<u>></u>
·	OK キャンセル ヘルプ

- [プロンプト]ダイアログボックスの[プロンプトプロパティ]セクションで、
 [一覧から選択]および [オプションプロンプト] チェックボックスを選択します。
- 11. [**OK**] をクリックします。
- [Resource Pools] クラスフォルダを展開し、[Resource Pool Name] および [Resource Pool Managers] オブジェクトを [結果オブジェクト] セクション にドラッグします。
- 13. [Resources] クラスフォルダを展開し、[Resource Name] オブジェクトを [結果オブジェクト] セクションにドラッグします。
- 14. [Roles] クラスフォルダを展開し、[Role Name] オブジェクトを [結果オブ ジェクト] セクションにドラッグします。

デーカ プロパティ	結果オブジェクト	T X	Ø
	🖉 Project Name 🖉 Resource Pool Name 🍯 Resource Pool Managers 🖉 Resource Name 🖉 Role Name		
E ✓ Level1 Manager Nar			
Level3 Manager Nai			
표 🔎 Level4 Manager Nai			
🗄 🔎 Level5 Manager Nai			
🕀 🔎 Level6 Manager Nai			
± Level/Manager Nai			
Evel8 Manager Nat			
Evel Manager Na T-			
Primary Organizatio			
Named Resource FI			
🕀 💼 Resource User Con			
Top Manager	ל א 🖅 לא איז איז איז איז איז איז איז איז איז אי	$\exists \times$	×
🗄 🚞 Regions			
E 📂 Roles	🧖 Project Name リスト内 🖕 1000人力 Project Name: 💱 🟣		
Kole Name			
Enabled Flag			
● オブジェクト単位で表示			
○ 階層単位で表示			

15. [クエリーの実行] をクリックします。

[クエリーコンテキスト]ダイアログが表示されます。

<u>▲ クエリー コンテキスト ×</u>		
コンテキストを選択: ウエリー 1		
Resource demand from staffing profile region		
Resource demand on resource pool region		
Resource effort		
≣税8月:		
,		
OK 500000		

 この例のように、アドホックレポートクエリを作成するために選択したオ ブジェクトのセットが複数の結合パスを通じて取得可能な場合、InfoView では、クエリのコンテキストを選択するよう求められます(コンテキスト によって結合パスが定義されます)。[Resource demand on resource pool region] コンテキストを選択し、[OK] をクリックします。



リストのコンテキストがレポート結果にどのように影響するかを判断するには、コンテキ スト名をクリックし、[**説明**] ボックスに表示される内容を確認します。

[プロンプト]ダイアログが表示されます。

17. レポートに含めるプロジェクトを指定し、[**クエリーの実行**] をクリックします。

InfoViewによってレポートが実行され、プロジェクトにアサインされてい るリソースおよびリソースプールが一覧されます。

- 18. レポートのタイトルを指定します。
- 19. ドキュメントに名前を付けて保存します。

リソースプールのすべてのリソース

リソースプールにアサインされているすべてのリソースを一覧する単純なレ ポートを作成できます。表 45に、このレポートの作成に使用するRMユニバー スオブジェクトと、それらのオブジェクトが存在する[新しいWeb Intelligence ドキュメント]ページの場所を示します。

表 4-5. リソースプールのすべてのリソースを一覧するレポートに含める RMユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Resources	Resource Name	
Resource Pools	Resource Pool Name	Resource Pool Name

この場合、アドホックレポートクエリを作成するために選択したオブジェクトのセットが複数の結合パスを通じて取得可能です。クエリを実行すると、 InfoViewでは、クエリのコンテキストを選択するよう求められます。

🔹 JTTN- コンテキスト 🗙
コンテキストを選択: クエリー 1
Resource capacity
Resource demand from staffing profile region Resource demand on resource pool region
Resource effort
[ĴĴ 印月 :
1
07 tootal All 9

[Resource demand on resource pool region] コンテキストを選択します。

次の条件が成立する場合、リソースプールにアサインされているリソースは、 このレポートにのみ表示されます。

 リソースにキャパシティデータが含まれる場合。このレポートのクエリを 実行する場合、クエリで使用するコンテキストを選択する必要がありま す。レポートクエリに「Resource capacity」コンテキストを適用します。

「resource capacity」クエリコンテキスト内では、リソースプール、地域、ロール、組織単位、および会計期間全体にわたるリソースキャパシティデータがレポートに表示されます。 「resource capacity」コンテキストでは、リソースプールマネージャの観点に基づいたデータを表示できます。

 リソースの開始日(リソース開始日)および(または)リソースの終了日(リ ソース終了日)が、レポートスキーマに読み込まれているHP Resource Managementデータの開始日と終了日の間に存在する場合。

プロジェクトのベースラインデマンドとアクティブなスタッフィングプロファイルデマ ンドの比較

特定のプロジェクトのアクティブなスタッフィングプロファイルとベースラ インスタッフィングプロファイルを比較できるレポートを作成できます。 表 4-6に、このレポートを作成するためにWeb Intelligenceドキュメントに追加 するRMユニバースオブジェクトを示します。

表 4-6. プロジェクトのベースラインデマンドとアクティブなスタッフィングプロ ファイルデマンドの比較に使用するレポート用のRMユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Project Information	Project Name	Project Name
Staffing Profiles	Staffing Profile Name	Baseline Staffing Profile Staffing Profile Name
Staffing Profiles > Positions (サブクラス)	Position Name	
Fiscal Periods	Quarter Period Name	Date Range/Begin Period、End Period、Time Granularity
Resource Demand > Demand (FTE)	Committed Demand (FTE) Softbooked Demand (FTE) Unmet Demand (FTE) All Demand (FTE)	

図 4-1のようにクエリフィルタを設定します。

図 4-1. プロジェクトのベースラインデマンドとアクティブなスタッフィングプロ ファイルデマンドを比較するアドホックレポートのクエリフィルタ

結果オ	ブジェクト	T X 🕺	
💋 Pro	oject Name 🔰 Staffing Profile Name 🔰 Position Name 🔰 Quarter Period Name	Committed Demand (FTE)	
Sof	ftbooked Demand (FTE) uuu Unmet Demand (FTE) uuu All Demand (FTE)		
クエリー	フィルタ	봈 X 🛱 🗟	
	Baseline Staffing Profiles リスト内 。 定数を入力 に		
AND	AND OB Project Name リスト内 、 定数を入力 三		
	 Staffing Profile Name リスト内 、 定数を入力) 		
	Tote Range		

InfoView でこれらのオブジェクトを Web Intelligence ドキュメントに追加する 方法の例については、「HP Resource Management データに関するアドホックレ ポートの作成: 例」(81ページ)を参照してください。



会計年が1月以外の月から始まり、レポートクエリで四半期、半年、または年の時間粒度を指 定する場合、開始期間の月がそれぞれその会計四半期、半年、または年で始まっていることを 確認してください。この設定を行わないと、無効な結果が返されます。

デマンド、キャパシティ、および実績工数のレポート (プライマリ組織単位ごとにグ ループ化)

リソースが属するプライマリ組織単位ごとにグループ化された、リソースの デマンド、キャパシティ、および実績工数データを表示するレポートを作成 できます。表 4-7に、このレポートの作成に使用するRMユニバースオブジェ クトを示します。

表 4-7. プライマリ組織単位ごとにグループ化されたリソースのデマンド、 キャパシティ、および実績工数データの表示に使用するレポート用の RMユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Resources	Primary Organization Unit	Primary Organization Unit / Prompt
Fiscal Periods	Month Period Name	Date Range
Resource Pools	Resource Pool Name	
Staffing Profiles	Staffing Profile Name	
Roles	Role Name	
Resource Capacity > Capacity (Hours) サブクラス	All Capacity (Hours)	
Resource Demand		Exclude Demand from Baseline Staffing Profile Exclude Obsolete Demand from Proposal
Resource Demand > Demand (Hours) サブクラス	All Demand (Hours)	
Resource Effort	Effort (Hours)	

フィルタ条件で特定のプライマリ組織単位を選択すると、名前なしリソースはどの組織単位に も属していないため、名前なしキャパシティのデータは結果から除外されます。フィルタ条件 で特定のプライマリ組織単位を選択しなければ、レポートにはすべての名前なしキャパシティ が表示されます。

オブジェクトをWeb Intelligenceドキュメントに追加する方法の例については、 「HP Resource Managementデータに関するアドホックレポートの作成:例」(81 ページ)の手順を参照してください。

合計デマンドとキャパシティの比較(追加のリソースプールデータ付き)

リソースプールマネージャは、詳細なリソースプール情報付きでリソース プールのデマンドとキャパシティを比較するレポートを作成できます。表 4-8 に、このレポートの作成に使用するRMユニバースオブジェクトと、それらの オブジェクトが存在する[新しいWeb Intelligenceドキュメント]ページの場所 を示します。

表 4-8. デマンド、キャパシティ、および実績工数に関するレポート (プライマリ組織単位ごとにグループ化されたデータ付き)に含める RMユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ	
	Resource Pool Name		
Resource Pools	Resource Pool Managers	Posourco Pool Namo	
Resource Pools	Parent Resource Pool	Resource Poor Name	
	Parent Resource Pool Name1		
Fiscal Periods Year Period Name Date Range		Date Range	
Roles Role Name			
Resources Resource Name			
	All Capacity (FTE)		
Resource Capacity	Named Capacity (FTE)		
	Unnamed Capacity (FTE)		
	All Demand (FTE)		
Resource Demand	Unmet Demand (FTE)		
> Demand (FTE)	Committed Demand (FTE)		
	Softbooked Demand (FTE)		

オブジェクトをWeb Intelligenceドキュメントに追加する方法の例については、 「HP Resource Managementデータに関するアドホックレポートの作成:例」(81 ページ)の手順を参照してください。

地域ごとのリソースプール

どのリソースプールがどの地域に関連付けられているかを確認できるレポートを作成できます。表 4-9に、このレポートの作成に使用するRM派生ユニバースオブジェクトと、それらのオブジェクトが存在するInfoViewの場所を示します。

表 4-9. 地域ごとにグループ化されたリソースプールに関するレポートに含める RMユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Resource Pools	Resource Pool Name Resource Pool Managers	
Regions	Region Name	Region Name / In list / Prompt
Roles	Role Name	

リソースにキャパシティデータが含まれる場合、リソースプールにアサイン されているリソースは、このレポートにのみ表示されます。クエリを実行す ると、InfoViewでは、クエリのコンテキストを選択するよう求められます。

🖆 クエリー コンテキスト 📉 🗙
コンテキストを選択: クエリー 1
Resource capacity
Resource demand from statting profile region Resource demand on resource pool region
Resource effort
[兌B月:
J
OK ++>2211 /11/7

[Resource capacity] コンテキストを選択します。

リソースカテゴリごとのすべてのリソース

プロジェクトのスタッフィングに使用されるリソースプールおよびリソース をリストするレポートを作成できます。表 4-10に、このレポートの作成に使 用するRMユニバースオブジェクトと、それらのオブジェクトが存在する InfoViewの場所を示します。

表 4-10. どのリソースカテゴリのどのリソースがPPM Center プロジェクトに アサインされているかに関するレポートに含めるRMユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Resources	Resource Category Primary Organization Unit Resource Name Primary Role	Resource Category/Prompt
Resource Pool Name	Resource Pools	

このレポートクエリを実行すると、InfoViewでは、レポートのコンテキスト を選択するよう求められます。[**Resource capacity**]を選択します。

HP Resource Management のアドホックレポートを作成および実行する方法の 例については、「HP Resource Management データに関するアドホックレポート の作成: 例」(81ページ) を参照してください。

スタッフィングプロファイルごとのリソースおよびロールに関するすべてのアサイン (すべての工数を表示)

スタッフィングプロファイルにアサインされているリソース(およびロール)、 これらのリソースが記録した工数、および各スタッフィングプロファイルが リソースにリクエストしたデマンドを表示するレポートを作成できます。リ ソースマネージャまたはプロジェクトマネージャは、このレポートを使用し て、リソースが実行した実績工数と、スタッフィングプロファイルが当初リ クエストした工数を比較できます。表 4-11に、このレポートの作成に使用す るRMユニバースオブジェクトと、それらのオブジェクトが存在する[新しい Web Intelligenceドキュメント]ページの場所を示します。

表 4-11. どのリソースがどのスタッフィングプロファイルにアサインされているか と、リソースが記録した工数に関するレポートに含める

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Staffing Profiles	Staffing Profile Name	
Pasourcas	Resource Name	
Resources	User Name	
Resource Demand		Exclude Obsolete Demand from Proposal
Resource Demand > Demand (Hours)	All Demand (Hours)	
Resource Effort	Effort (Hours)	
Fiscal Periods	<period> Name</period>	Date Range
Roles	Role Name	
Project Information	Project Name	
Request Information	Source Entity Type	
i toquoot information	Request ID	

RMユニバースオブジェクト

このレポートは、リソースが記録した実績工数のみを表示するように変更で きます。ただし、そのように変更する場合、クエリにデマンド情報が含まれ ないと、クエリに指定した期間内に時間を記録しなかったリソースは、レポー ト結果から除外されることに注意してください。つまり、スタッフィングプ ロファイルにアサインされているリソースのすべてを表示することはできま せん。



実績工数は、プロジェクトまたは (スタッフィングプロファイルに関連付けられた) HP Portfolio Management リクエストに対して時間が記録されている場合にのみスタッフィングプロファイ ルレベルに関連付けられますが、ポジションレベルには関連付けられません。つまり、アドホッ ククエリを実行する場合、実績工数はスタッフィングプロファイル属性にのみ関連付けることが可能で、ポジション属性には関連付けることができません。

リソースのスタッフィングプロファイルの詳細

リソースのスタッフィングプロファイルの詳細を表示するレポートを作成で きます。このレポートには、リソースが、その開始日と終了日、リクエスト されたロール、組織単位、リソースプール、マネージャ、および各リソース が組織内で担当するプライマリロールとともに一覧されます。表 4-12に、こ のレポートの作成に使用するRMユニバースオブジェクトと、それらのオブ ジェクトが存在する[新しいWeb Intelligenceドキュメント]ページの場所を示 します。

表 4-12. どのリソースプールのどのリソースがPPM Center プロジェクトに アサインされているかに関するレポートに含めるRMユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
	Staffing Profile Name	
Staffing Profiles	Start Date	Staffing Profile Name/Prompt
	Finish Date	
Roles	Role Name	
	Primary Organization Unit	
Resources	Manager Name	
	Resource Name	
Resource Pools	Resource Pool Name	

このレポートクエリを実行すると、レポートのコンテキストを選択するよう 求められます。このレポートでは、[Resource demand on resource pool region] を選択します。

オブジェクトを新規 Web Intelligence ドキュメントに追加する方法の詳細については、「HP Resource Management データに関するアドホックレポートの作成:例」(81ページ)の手順を参照してください。

第5章 HP Time Managementのレポート

この章では、HP Time ManagementのOperational Reportingについて説明します。 また、HPが提供する事前設定済みのTime Sheet Compliance report と、HP Time Management データを対象に作成できる多くのアドホックレポートの一部に関 する情報を提供します。

Time Sheet Compliance Report (タイムシートコンプライアン スレポート)

HPでは、Operational Reporting ソリューションでHP Time Management にTime Sheet Compliance Reportを提供しています。このレポートでは、組織全体にわたり時間入力のコンプライアンスを継続的に監視し、コンプライアンスに違反している組織単位およびリソースを特定できます。冗長なデータを細かく調べることなく、会社全体の時間コンプライアンスを監視できます。サマリデータによって、管理チェーン、組織単位、またはリソースプールのコンテキスト内における時間コンプライアンスの概要が提供されます。

タイムシートコンプライアンスレポートには、記録済み、送信済み(または未 送信)、定時に承認済み(または未承認)のタイムシートの合計数に加え、指定 の期間におけるコンプライアンスのトレンドが表示されます。追加情報が必 要な場合は、ドリルダウン機能を使用して、管理チェーン、組織単位、および リソースプールの各レベルで時間コンプライアンスの詳細を確認できます。 この項では、タイムシートコンプライアンスレポートクエリの必須およびオ プションのプロンプトと、表示されるレポート結果について説明します。



HP Time Management データに関してレポートするために新規 Web Intelligence レポートド キュメントを作成する方法の詳細については、「HP Time Managementのアドホックレポート」 (107ページ)を参照してください。

タイムシートコンプライアンスレポートクエリの情報

図 5-1は、タイムシートコンプライアンスレポートの[プロンプト]ダイアロ グを示しています。表 5-1に、クエリに指定する情報の説明を示します。

図 5-1. タイムシートコンプライアンスレポートの [プロンプト] ダイアログ

<u>≝</u> プロンプト <u>×</u>
次の各プロンプトのプロンプト値を選択または入力します。
Period Range Beginning Date: 2013/05/09
Period Range Ending Date: 2013/05/10
→ 値の入力Time Sheet Status:
値の最新表示 😌 (値∩ λ 力 Time Sheet Status:
Time Sheet Status
Pending Approval
Unsubmitted
前回更新日時: 2013年4月27日 12:35:57:GMT-06:00
検索パターンの入力 め ・
で クエリーの実行 キャンセル

表 5-1. タイムシートコンプライアンスレポートクエリのプロンプト

プロンプト * 必須の値	説明
*Period Range Beginning Date	レポートに表示されるデータの日付間隔の開始日を決 定します。 期間の終了日が期間範囲の開始日と終了日の間にある 場合、その期間のデータがレポートに含まれます。
*Period Range Ending Date	レポートに表示されるデータの日付間隔の終了日を決 定します。 期間の終了日が期間範囲の開始日と終了日の間にある 場合、その期間のデータがレポートに含まれます。
*Time Sheet Line Status(es)	レポートに、明細ステータスとは関係なくすべてのタイ ムシート明細のデータを表示するか、特定のステータス を持つタイムシート明細のデータのみを表示するかを 決定します。 次のいずれかの値を選択します。 * (デフォルト) Unsubmitted Submitted Approved Rejected Frozen Closed

プロンプト * 必須の値	説明
*Time Sheet Status(es)	 レポートに、明細ステータスとは関係なくすべてのタ イムシートのデータを表示するか、特定のステータス を持つタイムシートのデータのみを表示するかを決定 します。 次のいずれかの値を選択します。 *(デフォルト) Unsubmitted Pending Approval In Rework Approved Frozen Closed Missing 注記: [Missing] は、運用レポートにおいて PPM Center タイムシートの有効なステータスではありませんが、こ れは割り当てられたステータスのないタイムシートを
	表します。
* Tolerance for Approval (days)	期間の終了日からの経過日数であり、この日数の経過後 はタイムシートをコンプライアンス準拠として承認で きません。
* Tolerance for Submission (days)	期間の終了日からの経過日数であり、この日数の経過後 はタイムシートをコンプライアンス準拠として送信で きません。
* Top Org Unit	選択された組織単位に基づいてレポートデータをフィ ルタします。レポートでは、階層内でこの組織単位より 下位のすべてのデータが返されます。
Request Type Name(s)	(オプション)1つまたは複数の選択されたリクエストタ イプに基づいてレポートデータをフィルタします。
Project Name(s)	(オプション)1つまたは複数の選択されたプロジェクト に基づいてレポートデータをフィルタします。
Location Code(s)	(オプション)1つまたは複数の選択された場所に基づい てレポートデータをフィルタします。

表 5-1. タイムシートコンプライアンスレポートクエリのプロンプト

プロンプト * 必須の値	説明
Resource Category(s)	(オプション)1つまたは複数の選択されたリソースカテ ゴリに基づいてレポートデータをフィルタします。
Department(s)	(オプション)1つまたは複数の選択された部署に基づい てレポートデータをフィルタします。
Company(s)	(オプション)1つまたは複数の選択された会社に基づい てレポートデータをフィルタします。
Charge Code(s)	(オプション) 選択された手数料コードに基づいてレポー トデータをフィルタします。



Time Sheet Compliance Reportには、リソースが現在属しているリソースプールのタイムシートが含まれます。これは、タイムシートが今後または過去の期間を対象としており、リソースがその期間において異なるリソースプールに関連付けられている場合でも同様です。

Time Sheet Compliance Reportの結果

以下の項では、さまざまなレポートタブに表示される Time Sheet Compliance Reportの結果について説明します。



以前にパフォーマンスを向上する目的で監査イベントテーブルからタイムシートデータを削除 した場合、そのデータはレポートで使用できず、Time Sheet Compliance Reportの結果にも含 まれません。

[Direct Manager] タブ

[Direct Manager] タブには、マネージャ階層とリソースカテゴリごとにグルー プ化された送信および承認コンプライアンスデータが表示されます。レポー トのマネージャ階層は、最上位から3つ下のレベルまで表示されます。レポー トの生成に使用されるクエリには、最大10の階層レベルが含まれます。これ は、必要に応じてデータをフィルタする場合に役立ちます。

表 5-2 に、Time Sheet Compliance Reportの [Direct Manager] タブに表示される 列の説明を示します。

列見出し	説明
Manager Hierarchy - Level 1	管理階層の最上位レベルマネージャ
Manager Hierarchy - Level 2	管理階層の最上位から2番目のレベルのマネージャ
Manager Hierarchy - Level 3	管理階層の最上位から3番目のレベルのマネージャ
Resource - Direct Manager	リソースの直属マネージャまたは最下位レベルマネー ジャ
Resource - Category	リソースが属するカテゴリ
Time Sheet Compliance - Expected Total Time Sheets	コンプライアンスのために送信する必要のあるタイム シートの数
Submissions - Total	送信されたタイムシートの合計数
Submissions - Compliant	コンプライアンスに準拠した送信済みのタイムシート の合計数

表 5-2. Time Sheet Compliance Reportの [Direct Manager] タブの列

列見出し	説明
Submissions - % Compliance	コンプライアンスに準拠した送信済みのタイムシート の合計パーセント
Approvals - Total	承認された送信済みのタイムシートの合計数
Approvals - Compliant	承認コンプライアンスに準拠したタイムシートの 合計数
Approvals - % Compliance	承認コンプライアンスのパーセント

表 5-2. Time Sheet Compliance Reportの [Direct Manager] タブの列

特定のリソースマネージャの詳細情報を参照するには、ハイパーリンクが設定されたマネージャ名をクリックしてください。リソース情報レポートが新規Webブラウザウィンドウとして開かれ、そこにマネージャの名前、部署、場所、カテゴリ、会社、ロール名、および直属マネージャが表示されます。

[Org Unit] タブには、組織単位階層とリソースカテゴリに基づいてグループ化 された送信および承認コンプライアンスデータが表示されます。レポートの 組織単位階層は、最上位から3つ下のレベルまで表示されます。レポートの生 成に使用されるクエリには、最大10の階層レベルが含まれます。これは、必 要に応じてデータをフィルタする場合に役立ちます。

表 5-3に、Time Sheet Compliance Reportの [**Org Unit**] タブに表示される列の説 明を示します。

列見出し	説明
Org Unit Hierarchy - Level 1	組織単位階層の最上位の組織単位
Org Unit Hierarchy - Level 2	組織単位階層の最上位から2番目の組織単位
Org Unit Hierarchy - Level 3	組織単位階層の最上位から3番目の組織単位
Resource - Direct Manager	リソースの直属マネージャまたは最下位レベルマ ネージャ
Resource - Category	リソースが属するカテゴリ
Time Sheet Compliance - Expected Total Time Sheets	コンプライアンスのために送信する必要のあるタイ ムシートの数
Submissions - Total	送信されたタイムシートの合計数
Submissions - Compliant	コンプライアンスに準拠した送信済みのタイムシー トの合計数
Submissions - % Compliance	送信コンプライアンスのパーセント
Approvals - Total	承認されたタイムシートの合計数
Approvals - Compliant	承認コンプライアンスに準拠したタイムシートの合 計数
Approvals - % Compliance	承認コンプライアンスのパーセント

表 5-3. Time sheet Compliance Reportの [Org Unit] タブの列

[Org Unit] タブには、組織単位と、各組織単位の3つのレベルのグループ合計 が管理階層の最上位から表示されます。特定の組織単位の詳細情報を参照す るには、ハイパーリンクが設定された組織単位名をクリックしてください。組 織単位情報レポートが新規Webブラウザウィンドウとして開かれ、そこに組 織単位の名前、部署、場所、カテゴリ、および組織単位マネージャの ID が表示されます。

[Resource Pool] タブ

[Resource Pool] タブには、リソースプール階層に基づいてグループ化された 送信および承認コンプライアンスデータが表示されます。レポートのリソー スプール階層は、最上位から3つ下のレベルまで表示されます。レポートの生 成に使用されるクエリには、最大10の階層レベルが含まれます。これは、必 要に応じてデータをフィルタする場合に役立ちます。

表 5-4に、Time Sheet Compliance Reportの [**Resource Pool**] タブに表示される 列の説明を示します。

列見出し	説明
Resource Pool Hierarchy - Level 1	リソースプール階層の最上位のリソースプール
Resource Pool Hierarchy - Level 2	リソースプール階層の最上位から2番目のリソー スプール
Resource Pool Hierarchy - Level 3	リソースプール階層の最上位から3番目のリソー スプール
Resource - Resource Pool	リソースが属するリソースプール
Resource - Category	リソースが属するカテゴリ
Time Sheet Compliance - Expected Total Time Sheets	コンプライアンスのために送信する必要のある タイムシートの数
Submissions - Total	送信されたタイムシートの合計数
Submissions - Compliant	コンプライアンスに準拠した送信済みのタイム シートの合計数
Submissions - % Compliance	送信コンプライアンスのパーセント

表 5-4. Time Sheet Compliance Reportの [Resource Pool] タブの列

表 5-4. Time Sheet Compliance Reportの [Resource Pool] タブの列

列見出し	説明
Approvals - Total	承認されたタイムシートの合計数
Approvals - Compliant	承認コンプライアンスに準拠したタイムシート の合計数
Approvals - % Compliance	承認コンプライアンスのパーセント

リソースのマネージャに関する追加情報を含むレポートを参照するには、ハ イパーリンクが設定されたマネージャ名をクリックしてください。リソース 情報レポートが新規ブラウザウィンドウとして開かれ、そこにマネージャの 名前、リソースカテゴリ、場所、部署、会社、直属マネージャ、ロール、お よび電子メールアドレスが表示されます。

複数のリソースプールに属しているリソースのタイムシートは、リソース プールごとにカウントされます。

Time Sheet Compliance Reportには、リソースが現在属しているリソースプールのタイムシートが含まれます。これは、タイムシートが今後または過去の期間を対象としており、リソースがその期間において異なるリソースプールに関連付けられている場合でも同様です。その結果、 Time Sheet Compliance Reportから一部のリソースプールが除外される可能性があります。た とえば、リソースが過去に異なるリソースプールにアサインされていた場合、そのリソースプー ルはTime Sheet Compliance Reportに含まれません。



HP Time Managementのアドホックレポート

以下の項では、HP Time Managementを対象に作成できる運用レポートについ て説明し、それらのレポートのいくつかを作成する方法の例を示します。ま た、以下の項には、レポートで使用できるコンテキストに関する情報と、運 用レポートクエリでのPPM Centerユニバースオブジェクトの使用方法に関す るガイドも含まれます。

HP Time Managementのアドホックレポートのコンテキスト

HP Resource Managementのアドホックレポートを作成する場合、InfoViewに よってレポートクエリのコンテキストを選択するよう求められることがあり ます。コンテキストは、複数のディメンションおよびファクトに関連する一 意のクエリパスを作成するための、明確に定義された結合のセットで構成さ れます。

ディメンションの共通セットにレポートユニバースの複数のファクトおよび メジャーが関連している場合、複数のファクトと関連ディメンション間の結 合は、ループに陥ります。ファクトおよび関連ディメンションごとに個別の コンテキストを指定することで、ループを排除し、共通ディメンションのセッ ト全体で複数のファクトをクエリできます。

Operational Reportingでは、**HP Time Management**データを対象に作成されるア ドホックレポートに次のコンテキストが提供されます。

• 「Time Sheet Compliance」 コンテキスト

「Time Sheet Compliance」コンテキストでは、Required Time Sheets、Compliant Submissions、Compliant Approvals、Total Submissions、Total Approvals、 Submission Percent、Approval Percentなどのコンプライアンスメジャーをク エリできます。このコンテキストでは、リソースプールがコンプライアン スメジャーのリソーステーブルを通じて結合されます。



欠落したタイムシートには実績が存在しないため、リソースプールは、コンプライアンス メジャーのリソーステーブルを通じて結合されます。リソースプールの正しいコンプライ アンスメジャーを取得するため、リソーステーブルとの結合が使用されます。 • 「Time Sheet Actuals」コンテキスト

「Time Sheet Actuals」コンテキストでは、Total EffortやTotal Costなどの実 績メジャーをクエリできます。このコンテキストでは、リソースプールが タイムシート実績の実績ファクトテーブルと直接結合されます。

HP Time Management データに関するレポートのベストプラクティス

この項では、HP Time Management データを対象に作成するアドホック運用レポートで最適な結果を得るための推奨事項について説明します。

複数の作業項目タイプに関するレポート

Time Sheet Lines クラスの単一の作業項目タイプオブジェクト (Project、 Request、Miscellaneous オブジェクトなど) が含まれるレポートを生成する場 合、レポート結果にはその特定の作業項目タイプの数値のみが含まれます。 複数の特定の作業項目タイプオブジェクトが含まれるレポートを生成すると、 データは返されません。たとえば、Project オブジェクトとRequest オブジェク トの両方が含まれるレポートを作成および実行する場合、タイムシート明細 では両方のタイプの作業項目に対して時間が記録されないため、データは返 されません。異なる作業項目タイプの結果を参照するには、Project、Request、 Miscellaneous などの個別オブジェクトの代わりに、Work Item Type やWork Item Type Name オブジェクトを使用する必要があります。

メジャーを要約した結果の不正確なデータ表示の回避

TM派生ユニバースのメジャーは、タイムシートレベルで定義されます。つま り、タイムシート明細レベルのデータを表示するレポートを作成し、その後、 (レポートクエリからではなく)レポート表示からタイムシート明細の属性を 削除すると、BusinessObjectsではメジャーが要約(縮小)されます。

メジャーの要約の結果、不正確なレポートが生成され、クエリで指定された データとは異なるデータが表示されます。このような状況でレポートを作成 するには、表示に必要のない属性を列選択から削除し、クエリでそれらの属 性が使用されないようにしてください。
コンプライアンスメジャーに関するレポート

会計期間のコンプライアンスメジャーに関しては、レポートできません。コ ンプライアンスメジャーは、HP Time Managementの期間でのみサポートされ ます。

ロールおよび地域

ロールと地域は、両方ともHP Time Managementのどのメジャーでもサポート されません。

値およびパーセントの集計

パーセントは集計できないため、集計機能は、Submission Percent および Approval Percent メジャーには適用されません。クエリに Submission Percent お よび Approval Percent オブジェクトを含めると、BusinessObjects では、より上 位レベルの値がレポートで集計されません。たとえば、組織、マネージャ、お よび送信パーセントをクエリすると、組織レベルでは集計コンプライアンス パーセントが表示されません。異なるレベルの集計値を表示する場合、 Compliant Submissions および Required Timesheets オブジェクトを使用し、レ ポートでパーセントを計算する必要があります (この使用方法の詳細につい ては、HP提供による Time Sheet Compliance Report を参照してください。)。

フィルタを使用したレポート出力の制限

BusinessObjectsでは固定数の行のみが分析されるため(デフォルトは5000)、必ず適切なフィルタを使用してレポート出力を制限してください。

ポジションのロールとそのポジションにアサインされたリソースのロールの比較

ポジションのロールと、そのポジションにアサインされたリソースの実際の ロールを比較するクエリを作成する場合、次の操作を実行する必要があります。

- ポジションのロールのRole Nameオブジェクト(Rolesクラス)を選択します。
- リソースのロールのPrimary Roleオブジェクト (Resourcesクラス)を選択します。
- 「Resource Demand from Staffing Pool Region」コンテキストまたは「Resource Demand on Resource Pool Region」コンテキストを選択します。

大規模データベースに対するクエリ

デフォルトでは、クエリは実行後10分でタイムアウトします。大容量のデー タを取得するクエリフィルタを選択した場合、そのクエリはタイムアウトし、 レポート結果が返されない可能性があります。この問題の発生を回避するに は、次のいずれか1つ、または両方を実行します。

- [Universe Parameters] ダイアログの [Controls] タブで、実行時間の制限値を 増やすようにユニバースパラメータを変更します。
- より小規模なデータセットを取得するようにクエリフィルタを変更します。

HP Time Managementのアドホックレポートの作成

PPM Center に付属する TM 派生ユニバースには、HP Time Management データ を対象にユーザが独自の運用レポートを作成できるクラスとオブジェクトが 含まれます。以下に示すのは、HP Time Management データを対象に作成でき るアドホックレポートのごく一部です。

- 「未済タイムシート」
- 「遅延タイムシート送信のトレンド」
- 「タイムシート処理のトレンド」
- 「プロジェクトに記録された請求可能時間のトラッキング」
- 「リソースの進行中作業」



以前にパフォーマンスを向上する目的で監査イベントテーブルからタイムシートデータを削除 した場合、そのデータはレポートで使用できず、HP Time Management データに関するアド ホックレポートにも含まれません。

HP Time Management データに関するアドホックレポートの例

この項では、HP Time Management データに関するレポートのクエリを作成するための詳細な手順について説明します。

未済タイムシート

タイムシートを送信していないリソースを知る必要のある製品マネージャ は、どのリソースが、どのプロジェクトマネージャに対して作業しており、所 定の期間にタイムシートを送信していないかを確認できるレポートを作成で きます。この単純なテーブル形式のレポートには、所定の時間範囲における 期間ごとの遅延送信の数が表示されます。データは、リソースのマネージャ の名前に基づいてグループ化されます。



次の例では、このレポートクエリを作成および実行するのに必要な基本手順について説明しま す。Web Intelligence ドキュメントの作成方法の詳細については、『BusinessObjects Enterprise InfoView User's Guide』を参照してください。 現在の期間でタイムシートをまだ記録していないリソースを表示するレポー トを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. InfoViewにログオンします。
- InfoViewのホームページの [Navigate] セクションで、[ドキュメントー覧] を クリックします。
- 3. [新規作成] メニューで、[Web Intelligence ドキュメント] を選択します。

BUS	INESSOBJECTS INFOV	Business Objects an SAP company			
🌆 ホー	- ム ドキュメント一覧 開く -	送信先 🚽 ダッシュボード 🗸	ヘルプ	基本設定 バージョン情報	ログアウト
Web I	ntelligence ドキュメント - 新き	見ドキュメント			
D I	Universe 🔺	Description		Owner Fold	er
	Activity			Administrator	
	eFashion	eFashion retail Data Warehouse created 14 Oct 1998, u April 2002. 89,000+ row fact table. Version 6.0	odated 3	Administrator	
*	eFashion	eFashion retail Data Warehouse dated 14 Oct 2007. 89,0 fact table. Version 13	000+ row	/ Administrator /wel univ	bi erses

- 4. 使用可能なユニバースのリストで、[TM Derived Universe] を選択します。
- 5. [警告 セキュリティ]ダイアログボックスが開き、Javaアプリケーションコ ンポーネントに関するセキュリティ上の問題が勧告され、安全でない可能 性があるコンポーネントをブロックできます。[いいえ]をクリックします。

警告 - セ	キュリティ	×
Java コンポ	ヾ、セキュリティ問題の発生が考えられるアプリケーション・ −ネントを発見しました。	
名前 : 危険で 詳細1	Java_Report_Panel ある可能性のあるコンポーネンドは実行しないでください。(推奨) ^{5額のの}	
•	していたいではいいます。 アプリケーションに署名付きと署名なしの両方のコードが含まれています。 アプリケーションがやして問い合せて、アプリケーションが修正されていないことを確認してくださ	<u>いいえ</u> い。

左側のペインの[**データ**]タブに、TM派生ユニバースで使用可能なすべて のクラスおよびオブジェクトが一覧されます。



ドキュメントー覧に表示されるフォルダおよびオブジェクトは、ユーザがログオンしたア カウント、BusinessObjects Enterprise管理者によってユーザに付与されている権限、およ びユーザとその管理者が有効にしている設定に応じて変化します。

- 6. [Resources] クラスフォルダを展開します。
- [Resource Name] オブジェクトを [Resources] クラスフォルダから右上の [結果オブジェクト] パネルにドラッグします。
- 8. [Manager Name] オブジェクトを [Resources] クラスフォルダから右下の [**クエリーフィルター**] パネルにドラッグします。



9. [**クエリーフィルター**] パネルで、[Manager Name] ボックスのリストボタン (右端)をクリックし、リストから [**プロンプト**] を選択します。

クエリー フィルタ		
🥖 Manager Name リス	内 🖕 定数を入力	
	~	定数
	一覧からの値	
	プロンプト	
		他のクエリーからの結果

- **10.** [**データ**] タブ (左側のパネル) で、[**Time Sheets**] クラスフォルダを展開します。
- 11. [Time Sheet Status] オブジェクトを [Time Sheet] クラスフォルダから [**ク** エリーフィルター] パネルにドラッグします。

- **12.** [**クエリーフィルター**] パネルの [Time Sheet Status] ボックスで、リストボ タンをクリックし、[**プロンプト**] を選択します。
- 13. [データ] タブで、[Time Management Periods] フォルダを展開します。
- **14.** [Time Management Period Name] オブジェクトを [Time Management Periods] クラスフォルダから [結果オブジェクト] パネルにドラッグします。
- 15. [Which Period Date Range?] オブジェクトを [Time Management Periods] クラスフォルダから [クエリ-フィルタ-] パネルにドラッグします。

新しい Web Intelligence ドキュメント チャン				
□ ■ - ● ■ - 10 クエリーの編集 ■ レポート	の編集	👺 クエリーの実行 💉 🕘 🛛 🗸		
🔲 😽 🖬 🞁 クエリーの追加 🔗 🎟 📗				
<u></u>	結果オブジェクト	T X 🕺		
Time Management Periods Time Management Period Type Time Management Period Type Time Management Period Start De Time Management Period Start De Time Management Period Start De Time Sheets Time Sheet Status Time Sheet Status(ee)?	Resource Name Time Management Period Name			
Hequired Time Sheets Hequired Time Sheets	クエリー フィルタ	📯 🗙 🛱 📬		
Activities Activities Activities Charge Codes De Time Sheet Compliance De Time Sheet Compliance De Time Sheet Actuals De Time Sheet Actuals Orophiance Measures de Time Sheet Compliance de Time Sheet Actuals of オブジェク小単位で表示 SM層単位で表示	AND Manager Name リスド内 、 信色の入力Time Sheet Status: 今 注 イ Time Sheet Status リスド内 、 信色の入力Time Sheet Status: 今 注 「 Which Period Date Range ?			
① クエリー 1		4 ▷ Ξ		

16. [新しいWeb Intelligence ドキュメント] ページの右上の [**クエリーの実行**] を クリックします。 [プロンプト]ダイアログが表示されます。

70	コンフト 次の各プロンプトのプロンプト値を選択または入力します。
Γ	Period Range Beginning Date:
	Period Range Ending Date:
	値の入力 Manager Name:
	値の入力Time Sheet Status:

17. 次のようにレポートの日付範囲を指定します。

- a. [Period Range Beginning Date] をクリックし、[カスタム日付の選択] 複 数選択コントロールを使用してレポートデータの開始日を選択します。
- b. [Period Range Ending Date] をクリックし、[カスタム日付の選択] 複数 選択コントロールを使用してレポートデータの終了日を選択します。
- 18. 次のように1つまたは複数のマネージャの名前を選択します。
 - a. [値の入力 Manager Name] をクリックします。
 - b. [Manager Name] リストで、1つまたは複数のマネージャの名前を選択し、 右向き矢印をクリックして選択項目を右側のボックスに追加します。
- 19. [**値の入力Manager Name**] をクリックし、タイムシートステータスのリスト から次の値を選択します。
 - Unsubmitted
 - In Rework

20. [プロンプト]ダイアログの一番下の [クエリーの実行]をクリックします。

InfoViewによってレポートが実行され、リソース名と、そのリソースがま だタイムシートを送信していない期間の名前が一覧されます。

- 21. レポート結果ページで、[Report Title] をダブルクリックし、有効になった テキストボックスにレポートの名前を入力します。その後、[Enter]を押 します。
- 22. ツールバーの [保存] (□) をクリックします。
- 23. ドキュメントに名前を付けて保存します。

HP Time Managementデータに関する追加のアドホックレポート

以下の項では、HP Time Managementの運用レポートを作成するために構築で きる追加クエリについて説明します。

遅延タイムシート送信のトレンド

リソースを管理しているユーザと、そのリソースが属するチーム、組織単位、 または部署に基づいて遅延タイムシート送信のトレンドを表示できるレポー トを作成できます。表 5-5に、このレポートに使用するTM派生ユニバースオ ブジェクト、それらのオブジェクトが存在するInfoViewの場所、クエリフィ ルタの設定方法を示します。

表 5-5. 遅延タイムシート送信のトレンドに関するレポートに含める TM派生ユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Compliance Measures	Compliant SubmissionSubmission PercentTotal Submissions	
Resources	 User Name Manager Name Primary Organization Unit Department 	 Manager Name/equal to Primary Organization Unit / equal to Department/equal to
Time Management Periods	Which Period Date Range?	Which Period Date Range?

これらのオブジェクトを新規 Web Intelligence ドキュメントに追加する方法の 例については、「HP Time Management データに関するアドホックレポートの 例」(111ページ)を参照してください。

Web Intelligence ドキュメントの作成後、レポートを実行して結果を確認しま す。このレポートは、実績や期間データなどの追加情報で拡張できます。ま た、異なる形式で結果を表示するため、リソース名、部署、マネージャ、ま たは組織単位に基づいてデータをグループ化できます。必要なすべてのデー タをレポートに含め、適切に編成したら、そのレポートをExcelまたはPDF形 式で保存できます。

タイムシート処理のトレンド

HP Time Managementを担当する PPM Center のプロジェクトマネージャは、タイムシート処理のトレンドを検出できるレポートを作成できます。このレポートを設定することで、次の項目間の差異を表示できます。

- タイムシート送信とタイムシート承認 (グループ単位)。
- レポート期間の終了とタイムシート承認(グループ単位)。
- タイムシート再作業とタイムシート承認(グループ単位)。
- レポート期間の終了とレポート期間のクローズ (グループ単位)。

グループに基づいて、却下されたタイムシート(再作業が必要なタイムシート) の数や、タイムシートを複数回却下されたリソースなどを表示するタイム シート却下レートに関するレポートも作成できます。

TM派生ユニバースオブジェクトを新規Web Intelligenceドキュメントに追加す る方法の例については、「HP Time Management データに関するアドホックレ ポートの例」(111ページ)を参照してください。

プロジェクトに記録された請求可能時間のトラッキング

コンサルタントが記録する請求可能時間を監視する必要のある担当プロジェ クトマネージャは、所定の期間にプロジェクトに記録された請求可能時間を 表示する、アクティビティコードと手数料コードを含むレポートを作成でき ます。表 5-6に、このレポートに使用するTM派生ユニバースオブジェクト、 それらのオブジェクトが存在するInfoViewの場所、クエリフィルタの設定方 法を示します。

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Time Sheet Lines	Item Name Item Set Name	
Resources	User Name Manager Name	Manager Name/Equal to
Time Management Periods	Time Management Period Name	Which Period Date Range?
Time Sheet Actuals	Total Effort (Hrs)	

表 5-6. 請求可能時間に関するレポートに含めるTM派生ユニバースオブジェクト

生成されるレポートには、リソースが時間および実績工数を記録しているす べての作業項目が表示されます。

TM派生ユニバースオブジェクトを新規Web Intelligenceドキュメントに追加す る方法の例については、「HP Time Management データに関するアドホックレ ポートの例」(111ページ)を参照してください。

リソースの進行中作業

直属の部下がそれぞれ現在行っている作業を知る必要のあるリソースマネージャは、指定した期間においてリソースが関与したこと(プロジェクト、リクエスト、休暇など)を表示するレポートを作成できます。表 5-7に、このレポートに使用するTM派生ユニバースオブジェクト、それらのオブジェクトが存在するInfoViewの場所、クエリフィルタの設定方法を示します。

表 5-7. リソースの進行中作業に関するレポートに含めるTM派生ユニバース オブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Time Sheet Lines	Item NameItem Set Name	
Resources	User NameManager Name	Manager Name/Equal to
Time Management Periods	Time Management Period Name	Which Period Date Range?
Time Sheet Actuals	Total Effort (Hrs)	

生成されるレポートには、リソースが時間および実績工数を記録しているす べての作業項目が表示されます。レポートクエリには、リクエストタイプや パッケージなどの追加情報を含めることができます。

HP Time Management レポートのクエリを作成する際に考慮する必要のある 問題

この項では、HP Time Managementデータに関する運用レポートのクエリを作成する際に考慮する必要のある問題について説明します。この項には、HP Time Managementに関するレポートで使用されるTM派生ユニバースのクラスおよびオブジェクトに対する複数の参照が含まれます。TM派生ユニバースとそのコンポーネントの詳細については、

第6章 HP Financial Managementのレポート

本章の概要

この章では、HP Resource ManagementのOperational Reporting について説明し ます。また、HP が提供する事前設定済みのFinancial Summary Report と、HP Financial Management データを対象に作成できる多くのアドホックレポートの 一部に関する情報を提供します。



組織で複数言語のOperational Reportingを有効にしている場合、使用しているロケールに対し て運用レポートデータを正しく表示するようにInfoViewを設定していることを確認してくださ い。手順については、「複数言語のOperational Reportingのロケールの設定」(17ページ)を参照 してください。

Financial Summary Report (財務サマリレポート)

HPがOperational Reportingに提供するFinancial Management Reportを使用して、 進行中の工数を監視し、財務予測のために使用できる情報を生成できます。 PPM Centerによって、財務マネージャが今後のシナリオを予測できるポート フォリオシナリオが提供されます。これらのシナリオは、Financial Management Reportを使用して相互に、および進行中の工数を対象として直接比較できます。

HP PPM Financial Summary Reportには、予算の計画値と実績値の比較が、その 予算関連のすべての属性とともに表示されます。予算情報は、地域、ビジネ ス目標、または予算タイプ(予算が作成されているエンティティ)に基づいて グループ化できます。 予算値は、費用タイプまたは人件費タイプに基づいて分析できます。予算コストは、フィルタ基準に基づいて、PPM Center システムで定義された現地通貨またはその他の通貨で表示可能です。

Financial Summary Reportの実行

Financial Summary Reportを実行するには、次の手順を実行します。

- 1. Webブラウザのウィンドウを開いて、InfoViewにログオンします。
- InfoViewのホームページの [Navigate] セクションまたはヘッダパネルで、 [ドキュメントー覧] をクリックします。



ドキュメントー覧に表示されるフォルダおよびオブジェクトは、ユーザがログオンしたア カウント、BusinessObjects Enterprise管理者によってユーザに付与されている権限、およ びユーザとその管理者が有効にしている設定に応じて変化します。

3. ページ左側のツリーパネルで、[パブリックフォルダ] フォルダを展開し、 [HP PPM Reports] を選択します。

BUSINESSOBJECTS INFOVIEW Business Objects an SAP company						
🌍 ホーム ドキュメント一覧 開く 🖌 送	信先	・ ダッシュボード ・		ヘルプ 基本設	定 バージョン情報	職 ログアウト
						∓ ×
📔 😂 🛛 📚 🗌 新規作成 👻 追加 🖌 整調	⊥ -	アクション - タイトルの検索	•	<i>F</i>)	/1 ▶ 🗏
<u>⊨</u> すべて		タ仆ル ^	最终実行日時	<mark>ዮ</mark> ହብፓ	所有者	インスタンス
🖻 🔤 お気に入り		Linked Reports		フォルダ	Administrator	
- 🖾 受信ボックス						
😐 🚞 パブリック フォルダ	-	Demand Vs Capacity Report		Web Intelligence レポート	Administrator	0
🔤 Administration Tools						
🕀 📠 Auditor	1	ETL Job History		Web Intelligence レポート	Administrator	0
💴 Custom Reports for PPM						
🐃 🛄 Feature Samples	1	Financial Summary Report		Web Intelligence レポート	Administrator	0
🕀 🗁 HP PPM Reports						
📟 🔤 Project Manager Reports	1	Project Status List Report		Web Intelligence レポート	Administrator	0
💷 🖬 Report Conversion Tool						
🖻 🧰 en este en este en este en este este es	7	Time Sheet Compliance Report		Web Intelligence レホート	Administrator	0

4. 右側のパネルで、[Financial Summary Report] をダブルクリックします。

[プロンプト]ダイアログに、レポートクエリで使用可能なプロンプトが一覧されます。値が必要なすべてのプロンプトにデフォルト値が割り当てら

れていますが、これらの値は変更できます。また、一覧されているオプ ションプロンプトの一部または全部に値を指定できます。



プロンプトー覧の左側にある緑のチェックマーク (マ)は、そのプロンプトに1つの値が 指定されていることを示します。プロンプトー覧の左側にある赤い矢印 (→)は、そのプ ロンプトが必須であり、レポートクエリを実行する前に値を指定する必要があることを示 します。

5. データをさらに絞り込むには、レポートを実行する前に、次の表に一覧お よび説明されているプロンプトに情報を提供します。

プロンプトに値を指定しない場合、レポートデータにフィルタは適用されません。

プロンプト * 必須	説明
*Begin Period	PPM Centerで設定されているすべての会計期間のリス トから、レポートに含めるデータの開始期間を選択し ます。
*End Period	PPM Centerで設定されているすべての会計期間のリス トから、レポートに含めるデータの終了期間を選択し ます。
*Multiply Factor	係数のリストから、次のいずれかを選択します。 • 1 • 1,000 • 1,000,000
*Primary Group By	レポートのデータのプライマリグループを決定します。 次のいずれかの値を選択します。 • Region • Financial Summary Type • Business Unit • Business Objective
*Report Currency	リストから次のいずれかを選択して、財務サマリに関連 付けられた通貨がPPM Centerのデフォルト通貨 (ベー ス)または現地通貨に基づくように設定します。 • Base • Local

プロンプト * 必須	説明
*Secondary Group By	レポートのデータのセカンダリグループカテゴリを決 定します。次のいずれかの値を選択します。 • Expense Type • Labor Type
*Time Granularity	 レポートに表示されるデータの時間間隔を決定します。 次のいずれかの値を選択します。 [Year] は、期間をyyyyとして表示します。 [Half Year] は、期間をh1またはh2/yyyとして表示します。 [Quarter] は、期間をquarter/yyyyとして表示します。 [Month] は、期間をmm/yyyyとして表示します。 [Week] は、期間をmm/dd/yyyyとして表示します。
Business Objective Name	レポートに含めるビジネス目標を指定するため、HP Financial Managementのビジネス目標のリストから名 前を選択します。
Business Unit	レポートに含めるビジネスユニットを指定するため、 HP Financial Management に設定されているビジネス ユニットのリストから名前を選択します。
Financial Summary Name	レポートに含める財務サマリを指定するため、HP Financial Managementの財務サマリのリストから名前 を選択します。
Financial Summary Type	レポートに含める財務サマリタイプを指定するため、財 務サマリタイプのリストから次の値を1つまたは複数選 択します。 Project Proposal Asset Org_Unit Program
Region Name	レポートに含める地域を指定するため、PPM Centerに 設定されている地域のリストから名前を選択します。

- 6. ダイアログの一番上のリストから、プロンプトを選択します。
- 7. InfoViewでは、ダイアログの左下にあるボックスに一部のプロンプトで使用できる値が一覧されます。選択したプロンプトに対して値が一覧されない場合は、[値の最新表示]をクリックして値を表示します。
- 8. オプションのデータフィルタを指定したら、[**クエリーの実行**] をクリック します。

Web Intelligence によってデフォルト値のデータが取得され、レポートに結果 が返されます。

HP Financial Managementのアドホックレポート

PPM Center に付属する FM 派生ユニバースには、HP Financial Managementデー タを対象にユーザが独自の運用レポートを作成するのに使用できるクラスと オブジェクトが含まれます。この項では、HP Financial Managementのアドホッ クレポートで使用可能なコンテキスト、HP Financial Managementデータに関す るレポートを作成する際のベストプラクティス、およびHP Financial Managementを対象に作成可能な多くのアドホックレポートのうちの1つにつ いて説明します。

HP Financial Managementのアドホックレポートのコンテキスト

HP Resource Management のアドホックレポートを作成する場合、InfoView に よってレポートクエリのコンテキストを選択するよう求められることがあり ます。コンテキストは、複数のディメンションおよびファクトに関連する一 意のクエリパスを作成するための、明確に定義された結合のセットで構成さ れます。

ディメンションの共通セットにレポートユニバースの複数のファクトおよび メジャーが関連している場合、複数のファクトと関連ディメンション間の結 合は、ループに陥ります。ファクトおよび関連ディメンションごとに個別の コンテキストを指定することで、ループを排除し、共通ディメンションのセッ ト全体で複数のファクトをクエリできます。

Operational Reporting では、**HP Financial Management** データを対象に作成されるアドホックレポートに次のコンテキストが提供されます。

• 「FA for Program」コンテキスト

「FA for Program」コンテキストを使用すると、プログラムの予測および実 績データを含むクエリを作成できます。このコンテキストには、提案およ びプロジェクトのみを対象とする予測と実績が含まれます(資産は含まれ ません)。

プログラムの予測および実績データは、月単位で格納されます。「FA for Programs」コンテキストを選択した場合、必ず [Date range] または [Yearly Date Range] フィルタを選択して、所定期間のデータをクエリしてください。

• 「Approved for Programs」コンテキスト

「Approved for Programs」コンテキストでは、プログラムの予測コスト、実績コスト、および承認コストを含むレポートクエリを作成できます。提案、プロジェクト、資産、および組織単位の承認コストは含まれません。

プログラムの予測コスト、実績コスト、および承認コストデータは、年単 位で格納されます。「Approved for Programs」コンテキストを選択した場 合、必ず [Yearly Date Range] フィルタを選択して、所定期間のデータをク エリしてください。

• 「FA for Proposal/Project/Asset」コンテキスト

「FA for Proposal/Project/Asset」コンテキストでは、提案、プロジェクト、 および資産の予測と実績を含むレポートクエリを作成できます。プログラ ムと組織単位の予測および実績データは含まれません。

提案、プロジェクト、資産の予測および実績データは、月単位で格納され ます。「FA for Proposal/Project/Asset」コンテキストを選択した場合、必ず [Date range] または [Yearly Date Range] フィルタを選択して、所定期間の データをクエリしてください。

• 「Approved for Proposal/Project/Asset」コンテキスト

「Approved for Proposal/Project/Asset」コンテキストでは、提案、プロジェクト、および資産の承認コストデータを含むレポートクエリを作成できます。プログラムと組織単位の承認コストデータは含まれません。

提案、プロジェクト、および資産の承認コストデータは、年単位で格納さ れます。「Approved for Proposal/Project/Asset」コンテキストを選択した場 合、必ず [Yearly Date Range] フィルタを選択して、所定期間のデータをク エリしてください。 • 「Approved for Org Units」コンテキスト

「Approved for Org Units」コンテキストでは、組織単位のコスト、実績コスト、および承認コストデータを含むレポートクエリを作成できます。プログラム、提案、プロジェクト、および資産の承認コストデータは含まれません。

組織単位のコスト、実績コスト、および承認コストデータは、年単位で格納されます。「Approved for Org Units」コンテキストを選択した場合、必ず [Yearly Date Range] フィルタを選択して、所定期間のデータをクエリして ください。

HP Financial Management データに関するレポートのベストプラクティス

この項では、HP Financial Managementデータを対象に作成するアドホック運用 レポートで最適な結果を得るための推奨事項について説明します。

プログラムが複数のビジネス目標を含む場合のビジネス目標ごとのプログラムメジャーのグループ化

たとえば、ビジネス目標ごとにグループ化されたプログラムメジャー (Forecast、 Actuals、Approvedなど)を含むアドホックレポートクエリを作成し、そのクエ リ結果に (FM派生ユニバースの) Business Objectivesクラスから1つまたは複数 のオブジェクトを含めるとします。複数のビジネス目標を含むプログラムに 関してレポートすると、生成されるメジャーのデータに、関連するビジネス 目標の数が掛けられます。この操作により、正しくないレポートデータが生 成されます。

この問題を回避するには、プログラムにおける個別のビジネス目標の数をカ ウントするレポート変数を作成します。プログラムメジャーを表示する各ア ドホックレポートセルでこの変数を使用し、セルの合計をその値で割ります (Financial Summary Reportでは、このメカニズムが使用されます)。

大規模データベースに対するクエリ

デフォルトでは、クエリは実行後10分でタイムアウトします。大容量のデー タを取得するクエリフィルタを選択した場合、そのクエリはタイムアウトし、 レポート結果が返されない可能性があります。この問題の発生を回避するに は、次のいずれか1つ、または両方を実行します。

- [Universe Parameters] ダイアログの [Controls] タブで、実行時間の制限値を 増やすようにユニバースパラメータを変更します。
- より小規模なデータセットを取得するようにクエリフィルタを変更します。

Financial Summary Reportでの年次粒度の選択

時間粒度として年を選択し、Financial Summary Reportを実行する場合、会計年の開始月を開始期間として、会計年の終了月を終了期間として指定する必要があります。このように設定しないと、ForecastおよびActualsメジャーの年次値が間違ったものになります。

プログラムの財務サマリの無効化

HP Program Managementでは、プログラムに関連付けられた財務サマリを無効 にできます(詳細については、『HP Program Managementユーザーガイド』を参 照してください)。HP Financial Managementデータの通常の増分更新時に、プ ログラムの財務サマリデータは、レポートデータベースに転送されます。 Financial Summary Reportの結果には、財務サマリデータは含まれませんが、HP Financial Managementのアドホックレポートの結果には、このデータが含まれ ます。

財務サマリが無効化されているプログラムをフィルタで除外するには、 InfoViewでレポートクエリを作成する際に次のいずれかの操作を実行します。

[Financial Summary: Enabled] フィルタ (FM派生ユニバース、Financial Summary クラス)を [クエリーフィルター] パネルに追加します。

または、次の手順を実行します。

- [Financial Summary Enabled] オブジェクト (FM派生ユニバース、Financial Summary クラス)を[クエリーフィルター]パネルに追加します。
- 2. [**クエリーフィルター**] パネルで、[Financial Summary Enabled] ボックスのリ ストボタン (右端) をクリックし、リストから [**プロンプト**] を選択します。
- 3. レポートを実行し、[Financial Summary Enabled] の値を求められたら、「Y」 を入力します。

ポジションのロールとそのポジションにアサインされたリソースのロールの比較

ポジションのロールと、そのポジションにアサインされたリソースの実際の ロールを比較するクエリを作成する場合、次の操作を実行する必要があります。

- ポジションのロールのRole Nameオブジェクト(Rolesクラス)を選択します。
- リソースのロールのPrimary Roleオブジェクト (Resourceクラス)を選択します。
- 「Resource Demand from Staffing Pool Region」コンテキストまたは「Resource Demand on Resource Pool Region」コンテキストを選択します。

HP Financial Managementのアドホックレポートの作成

PPM Centerに付属するFM派生ユニバースには、HP Financial Managementデー タを対象にユーザが独自の運用レポートを作成できるクラスとオブジェクト が含まれます。以下に示すのは、HP Financial Managementデータを対象に作成 できるアドホックレポートの例です。

- 「プログラムごとの資産、提案、およびプロジェクトの例」
- 「予算超過のプロジェクト、提案、資産、およびプログラム(日付別)」
- 「プログラムのライフサイクルエンティティとサブプログラム」
- 「組織単位の承認された予算情報(地域別)」
- 「プログラム、組織単位、およびライフサイクルエンティティの財務データ(ユーザデータフィールドのデータを含む)」

プログラムごとの資産、提案、およびプロジェクトの例

プログラムマネージャは、プログラムに関連付けられたすべての資産、提案、 およびプロジェクトを表示するレポートを作成できます。表 6-1に、このレ ポートの作成に使用するFM派生ユニバースオブジェクトと、それらのオブ ジェクトが存在するInfoViewの場所を示します。

表 6-1. プログラムに関連付けられている資産、提案、およびプロジェクトに関す るレポートに含めるFMユニバースオブジェクト

オブジェクトクラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算 子/フィルタタイプ
Fiscal Periods	Year Period Name	Date Range
Financial Summary > Approved Budget	Approved Base	
Financial Summary >	Forecast Base	
Forecast & Actuals > Costs	Actual Base	
	Parent Program Name	
	Financial Summary Name	
	Source Entity Type	
	Request ID	
	Request Status	
	Request Type Name	
	Active Workflow Step Name	
	Application	
Proposals, Projects and	Business Objective Name	Parent Program Name
Assets (Lifecycle Entities)	Business Unit	Falent Flogram Name
	Department	
	Entity Asset Class	
	Entity Project Class	
	Entity Region	
	Priority	
	Source Entity Health	
	Source Entity Name	
	Workflow Name	

予算超過のプロジェクト、提案、資産、およびプログラム(日付別)

所定の日付で承認または予測された予算を超過するプロジェクト、提案、資産、およびプログラムを表示するレポートのクエリを作成できます。InfoView でこのクエリを作成する前に、最初にUniverse Designerを使用して、FM派生 ユニバース内に新しいオブジェクトを作成する必要があります。

所定の日付で承認または予測された予算を超過するプロジェクト、提案、資産、およびプログラムに関するレポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. Universe Designer でFM派生ユニバースを開きます。
- [警告 セキュリティ]ダイアログボックスが開き、Javaアプリケーションコンポーネントに関するセキュリティ上の問題が勧告され、安全でない可能性があるコンポーネントをブロックできます。[いいえ]をクリックします。

警告 - 七:	לבוודי	×
Javaカ コンポー	ヘ、セキュリティ問題の発生が考えられるアプリケーション・ −ネントを発見しました。	
名前: 危険で 詳細情	Java_Report_Panel ある可能性のあるコンポーネンドは実行しないでください。(推奨) 華心」	(1(1)Ž
Û	アプリケーションに署名付きと署名なしの両方のコードが含まれています。 アプリケーションのペンダーに同い合せて、アプリケーションが修正されていないことを確認してくだ	ຮຸດ.

- 3. [Classes and Objects] パネルで、[Costs] フォルダ ([Financial Summary] > [Forecast & Actuals] > [Costs]) を右クリックし、[Object] を選択します。
- [Edit Properties] ダイアログボックスで、オブジェクトに "Percentage Filter" という名前を付け、次のステートメントを [Select] セクションに追加します。

```
CASE
WHEN (@Select(Costs\Forecast Base) IS NOT NULL AND
@Select(Costs\Forecast Base)!=0) THEN
@Select(Costs\Actual Base) / @Select(Costs\Forecast Base) *
100
END
```

- 5. select ステートメントの構文エラーを解析し、FM派生ユニバースを保存お よびエクスポートします。
- 6. InfoViewにログオンし、新しいWeb Intelligenceレポートクエリを作成します。

次の表に、このレポートに使用するFM派生ユニバースオブジェクト、それらのオブジェクトが存在するInfoViewの場所、クエリフィルタの設定方法を示します。

オブジェクトクラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算 子/フィルタタイプ		
Proposals, Projects and Assets (Lifecycle Entities)	Entity Name Request Id Financial Summary Name Entity Type			
Financial Summary > Forecast & Actuals > Lines	Expense Type Code Labor Type Code Category Name	Expense Type Code / In list / Capital		
Fiscal Periods	Month Period Name (またはその他の粒度)	Date Range		
Financial Summary > Forecast & Actuals > Costs	 Forecast Base Actual Base Forecasted vs. Actual (%) Percentage Filter 	 Percentage Filter / Greater than / Constant (100) Exclude Snapshot & FD 		

プログラムのライフサイクルエンティティとサブプログラム

プログラムに関連付けられているライフサイクルエンティティとサブプログ ラムをリストするレポートを作成できます。表 6-2に、このレポートに使用す るFM派生ユニバースオブジェクト、それらのオブジェクトが存在する InfoViewの場所、クエリフィルタの設定方法を示します。

表 6-2. 特定のプログラムに関連付けられているライフサイクルエンティティと サブプログラムに関するレポートに含めるFMユニバースオブジェクト

オブジェクトクラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算 子/フィルタタイプ
Proposals, Projects and Assets (Lifecycle Entities)	Parent Program Name Financial Summary Name Entity Type Request Id Request Status Request Type Name Active Workflow Step Name Application Business Objective Name Business Unit Department Asset Class Project Class Region Priority Entity Health Entity Name Workflow Name	Parent Program Name / In list / Prompt
Request Information	Entity Type	
Fiscal Periods	Year Period Name	Yearly Date Range
Financial Summary > Approved Budget	Approved Base Forecast Base Actual Base	

組織単位の承認された予算情報(地域別)

地域に基づき、PPM Center で定義された組織単位の承認された予算情報を表示するレポートを作成できます。表 6-3に、このレポートに使用するFM派生 ユニバースオブジェクト、それらのオブジェクトが存在するInfoViewの場所、 クエリフィルタの設定方法を示します。

表 6-3. 組織単位の承認された予算情報 (地域別) に関するレポートのクエリを 追加するFMユニバースオブジェクト

オブジェクト クラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算子/ フィルタタイプ
Approved Budget	Approved Base Direct Parent Name Financial Summary Type	Financial Summary Type / Equal to / Value from list > ORGANIZATION UNIT
Regions	Region Name	Region Name / In list / Prompt

プログラム、組織単位、およびライフサイクルエンティティの財務データ (ユーザデータフィールドのデータを含む)

> プログラム、組織単位、およびライフサイクルエンティティの財務データ (PPM Center で設定したユーザデータフィールドのデータを含む)を表示する レポートを作成できます。表 6-4に、このレポートに使用するFM派生ユニバー スオブジェクト、それらのオブジェクトが存在する InfoView の場所、クエリ フィルタの設定方法を示します。



PPM Center フォームに存在するカスタマイズされたユーザデータフィールドをアドホックレ ポートに追加する方法については、第8章「アドホック運用レポートへのカスタマイズされた PPM Center データフィールドの追加」(149ページ)を参照してください。

表 6-4. プログラム、組織単位、およびLCEの財務情報に関するレポートの クエリを追加するFMユニバースオブジェクト

オブジェクトクラス	結果オブジェクト	クエリフィルタ/演算 子/フィルタタイプ		
Financial Summary > Approved Budget	 Actual Base Direct Parent Name Financial Summary Type Forecast Base 			
レポートする特定のディメン ションに応じて、次のいず れか: • Forecast & Actual > Forecast & Actual User Configured Data > Line Level User Configured Data (または Section Level User Configured Data) • Programs > Programs User Configured Data • Proposal, Project, Asset > Proposal, Project, Asset & Other Requests User Configured Data	Visible User Data (1つまたは複数)	Visible User Data /Equal to / Value(s) from list		

第7章 レポートポートレット

Operational Reporting ポートレットの概要

HPには、PPM Dashboard ページから運用レポートにアクセスできる、2つの PPM Center ポートレット (運用レポートポートレットと運用レポートリスト ポートレット)が用意されています。本章では、レポートポートレット、およ びこれらのポートレットを PPM Dashboard 内のプライベートページに追加す る方法について説明します。

運用レポートリストポートレット

運用レポートリストポートレットには、HPがOperational Reportingで提供する 事前設定済みの各運用レポートへのリンクが用意されています。レポートへ のリンクをクリックして InfoView にログオンすると、リンクされているすべ てのレポートと選択したレポートに関連付けられているドリルダウン機能に アクセスできます。

デフォルトでは、運用レポートリストポートレットは、HP Financial Management、 HP Project Management、HP Resource Management、HP Time Management の各 データに関するHP提供による運用レポートをリストします。管理者がこれら のポートレットにアドホックレポートを追加した場合、運用レポートリスト ポートレットからこれらのレポートにもアクセスできます。図 7-1 に、PPM Dashboardページに表示される運用レポートリストポートレットを示します。

図 7-1. PPM Dashboardページ上の運用レポートリストポートレット

🧑 Project and Portfolio Management Cen		ユーザ: Admin User <u>サインアウト</u>				
ダッシュボード 🗸 🔋 🖌 🖌 検索 🖌 作成 🖌 マイリンク 🗸	履歴 🗸 🔺		メニューまたはエ	ンティティの検	索	
ダッシュボード - Key Status Information > ダッシュボード - Operational Reports > ボートレット プリファレンスの編集: 運用レボート リスト > ダッシュボード - Operational Reports						
Operational Reports		רב ערבאר	() [サイクル エクス	2 + ポート 追加)	ふ パーソナライズ	
運用レポートリスト					2 🗖	
プリファレンス:						
Report Name						
Estimated_Efforts_test						
Demand Vs Capacity Report						
Time Sheet Compliance Report						
Project Status List Report						
Financial Summary Report						
■ Excellこエクスポート	(1-5/5を表示	K K				

運用レポートポートレット

運用レポートポートレットは、選択したレポート名に基づいてHP提供による 運用レポートを表示します。表示するアドホックレポートの名前を選択して ポートレットプリファレンスを編集し、InfoViewにログオンすると、選択し たレポートにアクセスできます。次の図に、PPM Dashboardページに表示され るプロジェクトステータスリストレポートを示します。

図 7-2. PPM Dashboardページ上の運用レポートポートレット

Project and Portfolio	Manage	ment Cente	ər				ユーザ:Jose	ph Banks	<u>サインフ</u>
『ッシュボード ✔ 開火 ✔ 検索 ✔ 作成 ✔ マイリンク ✔ 履歴 ✔ ★					x==-;	またはエンティ	ティの検索		
ッシュボード - Project(s) Status Overview > ダッシ	シュボード - Project I	Manager Reports							
oject Manager Reports					C Vtzs) () ル サイクル) エクスポー	+ ~追加 パ	♪ ーンナラ
用レポート									2
Jファレンス: port Name Filter: プロジェクト ステータスリ	スト レポート								
术─┞▲									
🚽 ドキュメント 🔸 表示 🖌 📃 塩 船	🧳 🖗 🛛 100%		/1 ▶ ₩	編集	൞ すべて最新	表示 • [>追跡 👘	@ <u>1</u> 🙀	•目 (
Project Status List Report Project Status List Report Project Status List Report	roject Sta	tus List Re	eport					-	
_		Decised No.	Decised Name	Desis of Manager	R tatua		Hea	lth	
	Program	Project No.	Project Name	Project Manager	Status	Overall	Schedule	Issue	Cos
		<u>30140</u>	APO - Pilot	Joseph Banks	Construct				
в	lack Diamond Initiative	<u>31980</u>	Global Control Phase 1	Joseph Banks	Construct				
		<u>31260</u>	Marketing WebPortal V2	Joseph Banks	Construct				
		<u>30100</u>	Web for One World	Joseph Banks	Detailed Project Definition	•			
		<u>30140</u>	APO - Pilot	Joseph Banks	Construct				
		<u>30160</u>	Billing Systems Integration	Joseph Banks	Detailed Project Definition				
	One world	<u>30120</u>	CRM One World	Joseph Banks	Detailed Project Definition				
									-

運用レポートポートレットのセキュリティ

InfoViewからレポートを表示するのに必要な権限がある場合、PPM Dashboard ページからのレポートポートレットで同じレポートを表示できます。

PPM Dashboardページへの運用レポートポートレットの追加

システムのパフォーマンスを最適化するために、HPでは、運用レポートポー トレットを、Operational Reporting以外のカテゴリに属しているポートレット をまだ表示していない PPM Dashboard ページに追加することを強くお勧めし ます。

PPM Dashboardページに**Operational Reporting**ポートレットを追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerの標準インタフェースから、レポートポートレットを追加する PPM Dashboardページに移動(または作成)します。

🕼 Project and Portfolio Management Center	ユーザ: Admin User <u>サインアウト</u>
ダッシュボード 🗸 🐘 🖌 検索 🗸 作成 🖌 マイリンク 🖌 履歴 🖌 🍵	メニューまたはエンティティの検索
ダッシュボード - 新規 ページ	
新規ページ	

2. [ポートレットの追加] ボタンをクリックします。

<mark>/会ポートレットの追</mark> // http://	加 – Windows Internet Explorer	
🥢 Proje	ect and Portfolio Management Cente	er
ボートレッ	トの追加	
追加するボ・	ートレットの検索	
カテコリ: ポートレット名:	すべて ALM Application Portfolio CMQC IT Service CMQC Quality Financial Management PeopleSoft Program Management Program Management Resource Management Resource Management Resource Management Roquette Frères Time Management パッケージ リクエスト 運用レポーティング	追加 キャンセル
[ポートレットの追加] ウィンドウの [カテゴリ] リストから、[Operational Reporting (運用レポーティング)] を選択します。

	ポートレ http://	/ットの追加 - ₩	indows Interne	et Explorer	<u>_ </u>		
	Project and Portfolio Management Center						
	ボートレットの追加 追加するボートレットの検索 カテコリ: 運用レポーティング マ						
	ボート	レット名:					
				ボートレットの検索			
	追加	ロすろボートレック	トの選択		2結果		
			1 978300				
		ボットレット 名	カテゴリ	説明 プ プ	^ل ^		
		ボートレット 名 運用レポート	カテゴリ 運用レポーティン グ	説明 ヘJ プ 違訳したレポート名に基づいて、HP 提供の運用レポートを表示し ます。	۲ ۲		
		ボートレット 名 運用レポート 運用レポート リス ト	カテゴリ 運用レポーティン グ 運用レポーティン	説明 パリ プ 説明 パリ プ 選択したレポート名に基づいて、HP 提供の運用レポートを表示します。 HP 提供の各運用レポートへのリンクを表示します。	۴ •		

4.1つまたは両方のチェックボックスを選択し、[追加]をクリックします。

- PPM Dashboard ページに運用レポートポートレットを追加した場合は、次のように表示するポートレットのレポートを選択します。
 - a. [運用レポート] ボックスで、[**ポートレットプリファレンスの編集**] アイ コンをクリックします。

:記:ページに対するすべての変更は自動的に保存されます	プレビュー
- ^.yý	
ページ名: Operational Report このページを自動更新する。開稿: 分こと	
ポートレット	
ボートレットの追加	
運用レポート	
運用レポート リスト	

[プリファレンスの編集]ページが開きます。

Project and Portfolio Management Center	ユーザ: Admin User <u>サインアウト</u>	
ダッシュボード 🗸 🐘 🖌 検索 🗸 作成 🖌 マイリンク 🖌 顧歴 🖌 🍵	メニューまたはエンティティの検索	
ダッシュボード - 新規 ページ > ボートレット ブリファレンスの編集: 運用レポート		
ブリファレンスの編集: 運用レポート (週用レポート)		
	タイトルの変更	
	完了 キャンセル	
プリファレンス		
Report Name Filter デマンド対キャパシティレポート V		
安定が持ちなびタイレポート ダスペトレットにフリスト ムット コンプライアンスレポート アートを準: レポート プロジェクト ステータス リスト レポート ・表示行象: 5 第単		
* 最大ビューに表示される行数: 50		

- b. [レポート名フィルタ] リストから、ポートレットに表示するレポートの 名前を選択します。
- **c.** [保存] をクリックします。
- 6. ブラウザとして Internet Explorer を使用する場合は、次の手順を実行します。
 - a. Internet Explorer ブラウザのウィンドウから、[ツール]>[インターネット オプション]を選択します。
 - b. [セキュリティ] タブをクリックし、[セキュリティ設定を表示または変更 するゾーンを選択してください] ボックスで、[信頼済みサイト] をクリッ クします。
 - c. [サイト] をクリックします。

- d. [信頼済みサイト]ダイアログボックスで、BusinessObjectsサーバのベースURLを追加します。
- 7. [ダッシュボード] メニューから、レポートポートレットを含む PPM Dashboard ページに移動します。

🕼 Project and Portfolio Management Center				
ダッシュボード 🗸 🕅 🗸 🗸	検索 🗸 作成 🗸	マイリンク 🗸 履歴 🖌 🍵		
ダッシュボードのパーソナライズ	> ダッシュボード - Operational Reports > ダッシュボードの パーソナライズ			
J51~->	Key Status Information			
共有	Operational Reports	に対するすべての変更は自動的に保存されます		
Operational Reports	SOA Requests			
+	Portlets	Operational Reports		
E DM list	DM list	- ジを自動更新する。間隔: 分ごと		
庄 📄 New Page	New Page			
	- ボートL	<u>し</u> レット		

第8章 アドホック運用レポートへのカスタマイズ されたPPM Center データフィールドの追加

運用レポートへのユーザデータフィールドの追加

この章では、Operational Reporting内のPPM Centerフォームに存在するカスタ マイズされたユーザデータフィールドを公開し、レポートに追加する方法に ついて説明します。また、InfoViewで作成したレポートを保存および共有す る方法についても説明します。

フィールドを追加するには、最初に PPM Center のユーザデータフィールドを 表すようにユニバースユーザデータオブジェクトを編集し、次にそのユーザ データフィールドを InfoView でアドホックレポートに追加します。以下の項 では、これらのタスクの手順について説明します。

PPM Center ユニバースのユーザデータオブジェクトの詳細については、『Data Model Guide』 を参照してください。

カスタムパラメータをレポートに追加する方法については、『Operational Reporting Administrator's Guide』を参照してください。

ユーザデータフィールドを表すためのユーザデータオブジェクトの編集

PPM Center に存在するユーザデータフィールドを表すようにユーザデータオ ブジェクトを編集するには、次の手順を実行します。

- 1. Universe Designer にログオンし、レポート対象のPPM Center モジュールに 関連付けられたユニバースを開きます。
- [Universe] パネル (左側のパネル) で、ユーザデータフィールドが定義されている PPM Center エンティティのユーザ設定データオブジェクトが含まれるサブクラスに移動します。
- PPM Center のユーザデータフィールドに対応する [Visible User Data] オブ ジェクトをダブルクリックします。たとえば、ユーザデータフィールドが PPM Center のリクエストに対して定義されており、そのユーザデータの修 飾子がUSER_DATA3である場合、Universe Designer の [Universe] ペインで、 [Request User Configured Data] サブクラスに移動し、[Visible User Data3] をダブルクリックします。

[Edit Properties of Visible User Data<*N*>] ダイアログで、[**Definition**] タブが 表示されます。

- 4. [名前] ボックスで、既存の値をPPM Center で定義されているユーザデータ フィールドの名前で置き換えます。
- 5. [OK] をクリックしてファイルを保存します。
- 運用レポートに含める追加ユーザデータフィールドごとに、手順 2から手順 4を繰り返します。
- 7. 次のように、変更したユニバースを BusinessObjects リポジトリに保存します。
 - a. [File] > [Export] をクリックします。

[Export Universe] ダイアログが表示されます。

b. [Domain] ボックスに表示されていないフォルダにユニバースをエク スポートするには、[Browse] をクリックし、別のドメインを検索して 選択します。 c. [Group] ボックスで、エクスポートされたユニバースにアクセスする 必要のある1つまたは複数のグループを選択します ([Universes] リス トでは、変更されたユニバースがデフォルトで選択されます)。

Universe Designerに、エクスポート操作を確認するメッセージが表示されます。

これで、ユーザは、InfoViewで変更されたユニバースオブジェクトにアク セスできます。

- 8. InfoViewにログオンし、ユーザデータフィールドを追加するWeb Intelligence レポートドキュメントを開きます。
- 9. [プロンプト]ダイアログで、必要なプロンプトの値を選択し、[クエリーの 実行]をクリックします。
- 10. InfoView ツールバーの [Edit] をクリックします。
- 11. Web Intelligence ツールバーの [Edit Query] をクリックします。

[Universe] ペインの [**データ**] タブに、変更およびエクスポートしたユニ バースのすべてのオブジェクトが一覧されます。

- a. レポートクエリフィルタとしてユーザデータフィールドのユーザ設定 オブジェクトを追加し、プロンプトプロパティを設定するには、次の 手順を実行します。
- b. [データ] タブで、オブジェクトを選択して右側の [クエリーフィルター]
 セクションにドラッグアンドドロップします。このオブジェクトは、
 ほかのプロンプトとともに [プロンプト] ダイアログに一覧されます。
- c. プロンプトのクエリ演算子を変更するには、演算子のリストから任意 の演算子を選択します。
- d. [クエリーフィルター] セクションのプロンプトオブジェクトで、[プロ ンプトプロパティ]をクリックします。

[プロンプト]ダイアログが表示されます。

- e. プロンプトのプロパティを設定し、[OK] をクリックします。
- 12. レポート結果ページで、レポート内の適切な場所にフィールドをドラッグ します。

ユーザデータフィールドを含めるためのアドホックレポートの編集

ユーザデータフィールドを含めるためにアドホックレポートを編集するに は、次の手順を実行します。

- 1. InfoViewにログオンし、レポートのWeb Intelligenceドキュメントを開き ます。
- 2. スタッフィングプロファイル明細のユーザデータフィールド用の新規 フィルタを追加し、レポートクエリに含めます。
- 3. スタッフィングプロファイル明細のユーザデータフィールド用の新規表 示列を追加し、レポートに含めます。
- 4. スタッフィングプロファイル明細のユーザデータフィールド用の新規グ ループ化メカニズムを追加し、レポートに含めます。
- 5. リソースプールのユーザデータフィールド用の新規フィルタを追加し、レ ポートクエリに含めます。
- 6. リソースプールのユーザデータフィールド用の新規表示列を追加し、レ ポートに含めます。
- 7. リソースプールのユーザデータフィールド用の新規グループ化メカニズ ムを追加し、レポートに含めます。
- 8. レポートクエリを実行します。

運用レポートの保存および共有

レポート閲覧者がInfoViewを使用している場合、運用レポートを公開ドキュ メントとして保存し、利害関係者に直接送信できます。また、指定した日時 に自動的にリフレッシュおよび配布するように、ドキュメントをスケジュー ルできます。InfoViewを使用していない閲覧者とレポートを共有する場合、受 取人が表示および印刷できる電子メール添付ファイルとして Microsoft Excel、 PDF、およびWeb Intelligence ドキュメントの形式でレポートを送信できます。 InfoView では、次の形式のファイルとしてレポート (Web Intelligence ドキュメ ント)を保存できます。

- Excelスプレッドシート
- PDFファイル
- CSV (カンマ区切り値) ファイル

レポートの結果をExcel スプレッドシートまたはPDFファイルとしてコン ピュータに保存するには、次の手順を実行します。

 [Document] > [Save report to my computer as] を選択し、次に [Excel] また は [PDF] を選択します。



Excelスプレッドシートとしてレポートを保存する際の制限事項

BusinessObjects では、独自の内部ライブラリを使用して Excel ドキュメントを 生成します (ローカルにインストールされている Excel のバージョンは無関係 です)。これらの内部ライブラリでは、行および列に関して Excel 2003 と同じ 制限を持つドキュメントが作成されます。エクスポートされたレポート結果 の表示に使用する Excel のバージョンにかかわらず、データは失われます。

回避策

Excelスプレッドシートにエクスポートされるレポート結果に適用される制限 を回避するには、レポートをtxt形式で保存してから、そのテキストドキュメ ントをExcel 2007にインポートしてください。ただし、この場合、結果のデー タはすべて保持されますが、フォーマットは失われます。



Α

「Approved for Org Units」コンテキスト, 130 「Approved for Programs」コンテキスト, 129 「Approved for Proposal/Project/Asset」コンテキ スト, 129

В

BusinessObjects InfoView ログオン, 16

С

COST_CAPITALIZATION_ENABLED パラ メータ, 36

D

Demand Vs Capacity Report, 65

[Direct Manager] タブ Time Sheet Compliance Report, 102

F

- 「FA for Program」 コンテキスト, 128
- 「FA for Proposal/Project/Asset」 コンテキスト, 129

Financial Management レポート実行のベストプラクティス, 131 Financial Summary Report (財務サマリレポート) 実行, 124

Η

- HP Financial Management アドホックレポート, 128
- HP Live Network Operational Reporting のコミュニティと更 新プログラム, 11
- HP Project Management アドホックレポート, **39**, **43** アドホックレポートの例, **44**
- HP Resource Management アドホックレポート,75 アドホックレポートの例,81
- HP Time Management アドホックレポート, 107
- HP Time Management レポート Time Sheet Compliance Report, 97

InfoView ログオン,16

0

Operational Reporting HP Live Network, 11 [Org Unit] タブ Time Sheet Compliance Report, 104

Ρ

Project Management レポート実行のベストプラクティス, **40**

R

Resource Management レポート実行のベストプラクティス, 77

[Resource Pool] タブ Time Sheet Compliance Report, 105

Т

Time Management レポート実行のベストプラクティス, 108 「Time Sheet Actuals」コンテキスト, 108

Time Sheet Compliance Report, 97 [Direct Manager] タブ, 102 [Org Unit] タブ, 104 [Resource Pool] タブ, 105 結果の表示, 102 コンテキスト, 107

あ

アドホックレポート HP Financial Management, 128 HP Financial Management \mathcal{O} コンテキスト, 128 HP Project Management, 43 HP Project Management データ, 39 HP Project Management \mathcal{O} コンテキスト, 39 HP Resource Management, 75 HP Resource Management, 75 HP Time Management, 107 HP Time Management \mathcal{O} コンテキスト, 107

う

 運用レポーティング ポートレットのセキュリティ,143
 運用レポートポートレット,143
 PPM ダッシュボードページへの追加,144
 運用レポートリストポートレット,142

Ξ

コスト情報 解釈, 36 コスト情報の解釈, 36 コンテキスト HP Financial Management レポート, 128 HP Project Management レポート, 39 HP Resource Management レポート, 75 HP Time Management レポート, 107

L

事前設定済みのレポート,97
Demand Vs Capacity Report, 65
Financial Summary Report (財務サマリレポート),123
プロジェクトステータスリストレポート,19

せ

セキュリティ 運用レポートポートレット, 143

ふ

複数言語の運用レポーティング ロケールの設定,17
プロジェクトステータス詳細レポート,36 [プロジェクトのスコープ変更]タブ,36 [プロジェクトの問題]タブ,32 [プロジェクトリスク]タブ,34
プロジェクトステータスリストレポート,19 コスト情報の解釈,36

- [プロジェクトのスコープ変更]タブ プロジェクトステータス詳細レポート, 36
- [プロジェクトの問題]タブ プロジェクトステータス詳細レポート, 32
- [プロジェクトリスク]タブ プロジェクトステータス詳細レポート, 34

~

ベストプラクティス HP Financial Management レポート, 131 HP Project Management レポート, 40 HP Resource Management レポート, 77 HP Time Management レポート, 108

ほ

ポートレット PPM ダッシュボードページへの運用レ ポートポートレットの追加,144 運用レポート,143 運用レポートリスト,142

Þ

ユーザデータ レポートへの追加,**149**

れ

レポート Financial Summary Report (財務サマリレ ポート), 123 HP Project Management プロジェクトステータスリストレポー ト, 19 HP Resource Management Demand Vs Capacity, 65 HP 提供によるレポート, 14 Time Sheet Compliance Report, 97 ユーザデータフィールドの追加, 149

ろ

- ログオン InfoView, 16 ロケール 複数言語の運用レポーティングの設定,
 - 17